

第三十一回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案外一件(關稅定率法中改正)委員會會議錄(速記)第六回

會議

大正三年三月九日午後一時二十三分開議

出席委員左ノ如シ

板東 勘五郎君

丸尾

光春君

田邊

熊一君

吉原 祐太郎君

有森

新吉君

木村

長君

小山 谷藏君

森田

俊左久君

加賀

卯之吉君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省主稅局長 菅原

通敬君

農商務省農務局長 道家

齊君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

菊池 侃二君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(關直彦君外三名提出)

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

○委員長(板東勘五郎君) 是カラ開會致シマス、先日農商務委員ニ出席ヲ求メテ置キマシタルデスカラ、ソレニ對シテ御質問ヲ……

○丸尾光春君 私ハ政府委員ニ此米ノ關稅撤廢ニ對スル意見ヲ此場合承ツテ置キタイと思フ、第一政府委員ハ之ニ對シテ同意スルカ否ヤ、同意セズト云フナラバ同意スベカラザル理由ヲ承ツテ置キタイと思ヒマス

○委員長(板東勘五郎君) 是ハ此關稅ノ所管ハ大藏省デ之ヲ御聞キナサルノハ、大藏省ノ政府委員ガ適當ト思ヒマスガ……

○丸尾光春君 農商務省ハ農商務省トシテ……

○委員長(板東勘五郎君) 農商務省トシテノ意見デスカ

○丸尾光春君 農商務省ノ意見トシテ……

○政府委員(道家齊君) 御答致シマス、此米竝ニ初ノ輸入稅ヲ廢止スルト云フコトニ付キマシテハ、同意スルコトハ出來マセヌノデアリマス、其理由ト致シマシテハ、米ノ價ガ時ニ依リ固ヨリ消長ハゴザイマスルデゴザイマスルガ、殊ニ目下ノ狀況ト致シマシテハ、内地ノ米モ餘程下ガデモ居リマスルシ致シマスル上ニ尙ホ此關稅ヲ引下ケネハナラヌト云フヤウナ必要ハ認メテ居リマセヌ、ノミナラズ又一面ニ於キマシテ内地デハ段々此食料ノ問題ト致シマシテモ、此食料ヲ自給スルト云フヤウナコトノ必要ハモウ認メテ居ルノデアリマス、然ルニ此内地ノ現在ノ耕作ノ狀況カラ見マスルト云フト、マダ隨分其開墾スベキ餘地モ澤山アルノデアリマス、デ是等ノ土地ト云フモノヲ開發シマシテ、尙此食料自給ヲ致シマスル上カラ言ヒマスレバ、一方ニ於テ非常ニ低廉ナル米ヲ輸入スルト云フヤウナコトハ、此耕作ノ方カラ言ヒマシテモ甚ダ不利ニ陷ル譯デアリマス、旁々シマスルカラ急ニ之ヲ廢止スルト云フヤウナコトハ、同意スルコトハ出來ナイノデアリマス

○有森新吉君 私一ツ御尋ネシテ見タイ、此間御尋ヲ致シタルデスカ、實ハ唯今御話掛

第五類第五號

關稅定率法中改正法律案外一件委員會會議錄 第六回

大正三年三月九日

二三

リノ點ニアツテ、此農業ノ米ヲ產出スル土地ガナイコトモナイト云フヤウナ御話ヲシクアツタデスカ、實ハ其日本ノ人口ト云フモノハ、御承知ノ通り益々繁殖シテ行キ居ルノデアツテ、其繁殖ノ歩合ハ千人ニ付テ十一人半ト云フ割合デ進ンデ行キ居ルノデアリマスガ、此今日ニ於テモ米ト云フモノハ、日本國民ヲ養フト云フデケノ分量ト云フモノガナイノデアツテ、餘程輸入米ガ澤山アルト云フコトニナルノデアルカラシテ、此日本ノ土地ノ日本ノ國民ヲ養ヒ得ルデケノ農產品ト云フモノヲ求メルコトハ、餘程困難ノコトデヤラウト私ハ考ヘル、併ナガラ農商務省ノ方デハ隨分其土地ガ澤山アツテ、サウシテ其土地ハソナニムザカシクモナクシテ開墾スルコトガ出來ル、又人口ノ増加ニ應ジテ即チ日本國ハ自國ノ國民ヲ養フデケノ食物ト云フモノハ、十分ニアルト云フコトガ出來ルト云フ御目的カラデアラウカ、ドウデアラウカト云フコトヲ之ヲ御尋スル、ソレカラ今ノ關稅ニ於テ即チ外國米ニ對シテ稅ヲ課シテ居ッタナラバ、其外國米ガ即チ日本ニ出來ルカ、今ノ外國米ノ種類ト云フモノヲ私ガ見マスルト云フト、日本ニ出來ルヨリハ非常ニ品質ノ劣ッタモノデアル品質ノ劣ッタモノヲ、私ノ考デハ日本ニ拵ヘル百姓ト云フ者ハ、日本デハ無イデラウト思ヒマス、何トナレバ米ノ價ノ廉イ米ヲ日本デ作ル必要ハ無カラウト思ヒマス、外ニ農產物トシテ澤山ニ外國ニ輸出スルトコロノ物ガアツテ日本ノ米ナリ又米以外ノ農產物デ十分ニ金ヲ得ルコトガ出來ルト私等ハ見込ムノデアリマス、ソレデアルカラ此外國ノ如キ廉イ米、即チ外國ノ米ヲ言換ヘテ見レバ天然ノ豐饒ナ暖地ニ於テ、人口ノ多クヲ得ルコトガ僅カナ所デアツテ、サウシテ出來ルモノデアル、サウ云フヤウナ米ヲ日本ニ拵ヘル必要ガアルカナイカ、私ガ此關稅法ヲズツト拜見シタコロデハ、大抵日本デ此品物ハ出來ルト云フ見込ガ立ツモノヲ稅ヲ課セル、ヤウデアル、日本デ拵ヘル見込ノナイモノニ對シテ稅ヲ課セル、コトハナイヤウニ思フ、スレバ外國米ヲ日本ニ拵ヘル必要ハ私ハ勿論無シト思フシ、且又ソレヲ拵ヘル必要ガ日本ニ有ルカ無イカト云フコトニ付テ、農商務省ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(道家齊君) 御答致シマスガ、唯今ノ御尋ハ人口ガ段々繁殖エテ來ルガ、ソレニ對スル食料ト云フモノヲ悉ク内地デ自給ガ出來ルカドウカト云フノガ第一點ノ御尋ト考ヘマス、先ツ第一點カラ御答致シマスルガ、先刻モ申上ゲタ通りニ、成程内地ノ今日ノ農作ト云フモノハ十分集約ニヤツテ居リマス、又開墾ノ容易ク出來ル所ハモウ大分致シテ居リマス、併ナガラ大體カラ申シマスルト、今全國ノ面積カラ見マシテ耕地ノ割合ガ約一割四分位ニホカ當ツテ居ラナイ、ソレデ此外ニ今日原野ト認メルモノガナカノ少ナカラヌノデアリマス、先ツ統計ニ精確ナモノハ是ハ得ラレマセヌケレドモ、先ツ今日ノ統計ニ現レテ居ルコロデ見マスルト云フト、百七八十萬町歩位ノ開墾ハ先ツ出來ル積リデ居リマス、固ヨリ其中ニハ或ハ地目變換ヲ要スル所モアリマセウシ、新ニ開墾ヲスルヤウナ所モアラウト思ヒマス、是等ノモノヲ十分ニ開墾ヲ致シマスルト、又一面ニ於キマシテハ或ハ種子ノ改良デアルトカ、若ハ肥料ノヤリ方等ト云フヤウナモノヲ攻究致シマシタナラバ、相當ニ此米ノ產出其他雜穀類其他ノ食料品ノ供給ガ相當ニ出來ルト思フノデ

ス、即ち言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、耕作ノ方法竝ニ開墾ヲ致シマスルト云フト、マダマダナカ／＼人口ガ殖ヘルニ對シマシテモ、此食料ヲ供給スルコトガ出來ヤウト云フ見込ヲ有テ居リマス、ソレカラ又第二點ハ外國米ト同ジ品種ノモノガ出來ルカドウカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマスルガ、成程外國米ト同ジモノヲ拵ヘルカドウカト云フコトハ、是ハ餘程氣候ノ關係モ地質ノ關係モアリマスルカシテ、必ズシモ外國ノ品質ト同ジモノヲ拵ヘナクモ、内地ノモノガ出來マスレバ、内地人ハ最モ好デ内地品ヲ嗜好致シマスルノデアルカラ、外國米ガ這入ルカタ云ウテ、其需用ガアルカラ必ズシモ外國米ト同一ノモノヲ拵ヘナケレバ其需用ヲ充タスコトハ出來ナイト云フ理由モナイダラウト思ヒマス、是ハ詰リ内地デモ惡イ米モゴザイマセウシ、又良イ米モアルノデゴザイマスカラ、惡イ米ニナリマスレバ隨分外國米ト同ジ等位ニ居ルヤウナモノモ隨分出來マセウ、殊ニ又臺灣デアリマスとか、或ハ朝鮮デアルトカ云フヤウナ所デ見マスルト、是等米其他ノ食料品ト云フモノ、供給ヲ努メツ、アルノデアリマスカラ、是等ノ所デ出來ルモノハ從來ノ内地品ニ較ベマスト云フトヤハリ劣テ居リマス、或ハ朝鮮臺灣ノ米ノ如キハ寧ロ所謂現在申シマスル所ノ外國米ト云フヤウナモノニアヤカルモノガ隨分少ナカラヌノデアリマス、隨分是等ノモノモソレゾレ改良ハ致シテ居リマスルカラ、始終外國米ノ如キ惡イモノガ出來ルトモ申シマセウケレドモ、是等ガ現在ノ狀態カラ見マスレバ、隨分惡イモノガ出來、即ち外國米ト同ジヤウナモノガ出來テ居ルノデアリマス、是ガ内地ニハ勿論ノコト、朝鮮竝ニ臺灣等ニ於テ米作等ニ注意ヲ段々拂ッテ居リ、又開墾モ致シテ居リマスレバ、内外相應ジテ相當ニ此米ノ供給ハ出來ヤウト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○有森新吉君 第一ノ御尋ネニ付テモウ一遍伺ヒタイノデスガ、勿論原野ガ澤山アルト云フコトハ私モ承知シテ居ルノデアリマスルケレドモ、併ナガラ此農業ハ御承知ノ通り所謂生産費ガ無カタナラバ農産物ガ出來ナイノデアアルカラ、ドウシテモ生産ノ費用ト云フモノハ要ルニ違ヒナイノデスカラ、今度新シク土地ヲ開墾シテサウシテ其處ヘ以テ行テ米デモ作ラウト云フ時分ニハ、非常ナ費用ノ掛ルモノデアル、幾ラ土地ガアッテモ富士山ノ上トカト云フヤウナ所デハ逆モ物ヲ作ルコトハ出來ナイモノデアリマスカラ、今農商務省ノ御調デ見ル百七八十萬町歩ハ勿論譯ナク作り得ラレル所ダラウトマア思フノデスガ、ソレニシテモ私ハナカ／＼ムツカシイコトダラウト思ヒマス、併ナガラ是ハモウ議論ニ屬スルシ人ノ見込ニ依ルノデアリマスカラ、此上伺ヒマスレバドウ云フ年度割テ人口ノ増殖ハ年々大抵極テ居ルガ、耕地ノ割ハ幾ラ、サウシテ是ヨリ上ノ開墾地ハ開墾費用ガ幾ラ掛ルカト云フヤウ風ニ、細カイコトモ伺ヒタイケレドモ、是ハチヨットナカ／＼大ナル問題ダカラ容易ニ御調ガアルカ知ラヌケレドモ、先ツ第一ノ問題ハソレニシテ置キマセウ、第二ノ事ニ就テ私ノ御尋シタハ少シ御聽誤リナサッタヤウニ思フ、私ノ考ハ詰リ米ナリ總テノ其外國カラ來ル輸入品ニ對シテ稅ヲ課スルト云フトコロノモノハ何デアアルカト云フタナラバ、輸入品ニ稅ヲ課シテ課シタダケノ價ヲ高クシタナラバ、内地ノ品物ガ其保護ニ與ッテ拵ヘル出來ルト云フモノニ對シテ保護ヲ與ヘルガ本統デアラウト思フ、日本ハ入ッテ來ル物ニ對シテ總テ稅ヲ課スルト云フハ無理屈デハナイ、日本ハ入ッテ來ル物ニ對シテ日本デ出來得ル品物ニ對シテハ稅ヲ課スルト云フノガ本統デアラウト思フ、例ヘバ今度ノ稅法ノ改正デモ、金粉銀粉等ノ如キハ、日本デ產スルケレドモ日本ノ需要ヲ充スコトガ出來ナイ、工業ノ原料ニスルカラ無稅

ニスルト云フノ大部分無稅ニシタ、其有稅無稅ノ境界ハ何デアアルカト云ヘバ、日本デ出來ル物ニ對シテハ稅ヲ課スル、今之ヲ承レバ日本デモ出來ルカラ課サウト云フガ、課稅シテモ出來ナイト云フ品物ニ對シテハ無稅デス、外國米ト云フモノハ日本内地ニ出來ナイモノデアアル、ソレハ日本デ米ヲ作ッタナラバ外國米ヨリモ遙ニ良イ米ガ出來ル、外國米ハドウカト云ヘバ、實ニ天然ノ豐饒ナ所デ、溫度モ違フカラ人工ヲ加ヘルコトガ少ナイ、僅ニ種子ヲ蒔撒ラシテ置ケバ出來ル、サウ云フ粗末ナ米ガ日本ニ入ッテ來ルノニ課稅シテ日本ノ農産品ヲ保護スルト云フノハ本統ノ趣意デハナイ、即ち保護稅ノ趣意ニ適ッテ居ルモノデハナイ、私ハ此根本問題ハ農産物ガ必要カ人間ノ生命ガ必要カト云フトニアルト思フ、農業ヲ日本ノ人ガ重要視スルノハ何デアアルカト云ヘバ、食物ヲ拵ヘルカラ人ガ貴ブノデアアル、彼ハ食物ヲ拵ヘルカラト云ッテ隨分議會デモ農業保護ノ人ガ澤山居ルガ、ソレハ農業ナルモノハ人ノ生命ヲ繫グ食物ヲ拵ヘルカラ必要ナデアアル、トコロガ此外國米ハ日本デハ出來ナイノデカラ、是ハ農民保護ドコロデハナイ其以上重要ノモノデアラウト思フ、ソレニ對シテ課稅スルト云フトハ徒ニ日本ノ貧民ニ稅ヲ課スル、食物ニ稅ヲ課スルト云フトニ陷リハセヌカ、其點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(道家齊君) 御答致シマスガ、内地デ出來ル見込ノアル物ニ對シテハ保護ヲ加ヘルシ、内地デ到底出來ヌ物ニ對シテハ課稅ヲセヌ、斯ウ云フ御趣意ノヤウデアリマスガ、是ハ關稅全體ノ方針ニ係ルコトデアリマスカラ、其主義如何ニ付テハ大藏省ノ方カラ御答シタ方が當然デアラウト思ヒマスガ、併ナガラソレニ對シテモ米ナルモノハ内地デ出來ナイイカ出來ルカト云フト、ソレハ私ハ出來ルト御答ヲシヤウト思フ、成程先刻御說ノ通りニ外國デハ米ガ安ク出來ル、内地デハ米ガ比較的高イ(有森新吉君「高イヨリハ日本ノ米ガ良イ」ト呼フ)ツマリ良イ米ハ高イト云フトコトニナルノデス、ソレデアリマスカラ即チ其方ノ御趣意カラ云ヒマシテモ、米ナルモノガ内地ニ出來ナイナラバ成程保護稅ヲ課スル趣意ニ反スルカ知レマセヌガ、是ハ先刻申ス通り内地デハ十分出來ル見込ガアル、品質ハドウカト云ヘバ外國米ト同様ノモノモアリマセウケレドモ、其以上ノモノガ多數デアリマス、ソレデアリマスカラ稅ヲ課スル課セナイト云フ主義ハ姑ク措イテ、米ダケニ就テ申スト、ヤハリ内地ニ於テモ相當ノ保護ヲ與ヘルト云フトハ、今殘ッテ居ル所ヲ開墾ナリ何ナリスル上ニ餘程安心ナルコトデアラウト思ヒマス、ソレデ先刻御話ノ通り今殘ッテ居ル所ヲ開墾スルト云フトコトニ付テハ費用ガ掛ル、成程ソレハ大體ノ上ニ於テ容易イ所ノモノハ既ニ出來テ居ルノデ、殘ッテ居ル所ノ事業ナドモ比較的困難ノモノト見ナケレバナラヌ、ケレドモ殘ッテ居ルモノガ必シモ事業ガ困難トバカリハ言ヘヌノデ、大キナモノナドガ殘ッテ居ルノハ或ハ資力ガ乏シイトカ、或ハ大キナ土地デ利害關係ガ餘程緊密デアアルカラ、其利害關係ヲ解除シテ行ク方法ガ十分付カナイ、例ヘバ入會トカ或ハ大キナ土地ハ種種ノ所有者ガ其處ニ介在シテ居リマスカラ、夫等ノ利害關係ヲ一ニスルコトガ隨分困難デアリマス、ソレカラ又土地柄ニ依リテハ排水ナドノ事業モイロ／＼アリマスルケレドモ、農家ニ於テハ現今ノ學術ヲ應用シテヤルコトナドハ智識ガ發達シテ居リマセヌカラ知ラズニ居ルト云フトコトモアラウト思ヒマス、旁、殘ッテ居ル所ハ將來開墾スルヤウナコトハ困難ナ處モアリマセウガ、又必シモ生産費ガ非常ニ掛ッテサウシテ收支償ハヌト云フ所ダケ殘ッテ居ルト云フ譯デモナカラウト思ヒマス、大體ノ上ニ於テ、マダ内地ニ於テ相當ノ保護ヲ加

へレバ開發ノ餘地ガアル、從テ米ノ供給ガ其處ニ出來ルト云フ考ヲ持ッテ居リマスカラ、其點カラ申シテモ多少此農業者ニ對シテ保護ヲ與ヘテ置クト云フコトガ、事業ノ比較的困難ナ場所ニ對シテハ必要デナイカト思ヒマス

○有森新吉君 モウ一ツ例ヲ舉ゲテ私ノ意思ヲ能ク聽イテ戴キタイ、此關稅定率法ニ「パラフィンワックス」ト云フモノガアル、是ハ四十五度ヲ超エザルモノガ無稅デアッテ、超エタモノガ稅ガアル、是ハ丁度米ニ譬ヘテモ宜カラウト思フ、日本デ出來ル米ハソレハ保護シテモ宜カラウ、日本ト對等ノ米デ外國カラ入ッテ來ルモノニ對シテハ、日本ノ農業ニ害ヲ及ボスカラ課稅スルト云フコトハ假ニ議論ガ立ツトシテモ、ソレハ「パラフィンワックス」ノ如キモノハ四十五度以下ノモノハ直樣溶ケテシマウカラ無稅デ入ッテ來テモ無害デアッテ、却テ「燐寸」ノ原料ナドニナルカラ役ニ立ツトコロガ、四十五度以上ノモノハ日本ニ木蠟ノ產出ガアル、木蠟ニ對シテ害ヲ及ボスカラ硬イモノハ稅ヲ課スル、斯ウ云フヤウニ同様ノ物デモ或物ハ無稅或物ハ性質ヲ異ニスルカラ課稅スルコトニナッテ居リマス、米モ丁度是同様デ、性質ガ違ッテ居ル、外國米ハ日本ノ農業ニ何等ノ關係ガ無い、日本ノ農家ガ作ル米ニ對シテ何等ノ害ヲ加ヘナイモノデアアル、即チ丁度此「パラフィンワックス」ノ四十五度以下ノモノト同様ト思フ、然ラバ之ヲ入レテ下等勞働者ノ食物ヲ安クシテ、サウシテ下等勞働者ガ總テノ方面ニ向ッテ働クノデアリマスカラ、其「コスト、オブ、プロダクシヨン」ナルモノヲ安クシテ居ルノデアリマスカラ、總テノ事業ニ向ッテ宜イ、又外國米ノ如キモノ下等ノ性質ノモノハ連モ日本ニ出來ナイカラ是ハ需用ハ殖ヤサズシテ置イテ、日本下等ノ勞働者ノ需用ニ供セラレル、此事ハ決シテ日本農家ガ作ルモノデナイカラ農業者ニ何等ノ利益ヲ與ヘナイト云フコトデアアルガ、如何デアリマスカ

○政府委員(道家齊君) 唯今ノ御質疑ハ能ク分リマシタ、詰リ申シマスルト外國米ト日本米ト云フモノハ性質ガ違フ、從ッテ用途ガ違フデアアル、競爭品ニナラヌト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、或ハ下層社會ニバカリノ需用ニ供セラレルト云フコトデアリマス、御答シマスルガ、成程外國米ハ内地ノ品カラ見マスルト大體カラ言フト劣ッテ居リマス、併ナガラ外國ノ米ニ致シマシテ内地ノ米ノ四等位ニ當ッテ居ルモノガ段々出來テ居リマス、隨分良イモノヲ得ラレルデアリマス、デアリマスカラシテ必ズシモ是ガ下層界ノ食料ニ限ラレテ、其他ノ者ニ適ハヌト云フヤウナコトノ嚴格ナル見解ガ付クト云フコトハ是ハ一考ヲ要スルカモ知レマセヌガ、併ナガラ食料品デアリマスカラヤハリ習慣ニ習慣ガアリマスカラ、其習慣ニ依テ初メハ外國米ト云フモノハ絕對ニ善惡ヲ問ハズシテ需用ヲ嫌フト云フヤウナ向モアル、即チ外見ヲ張ッテ外國品ハ買ハヌト云フコトモアッタノデアリマセウガ併ナガラ段々ヤッテ見ルト人ガ好キ其需用ガ増シテ參リマシタ、多分是ハ御承知ノ通り今東京アタリノ市中デ賣ッテ居ルモノニ對シマシテモ純粹ノ外國米モ賣ッテ居ルカモ知レマセヌガ、多クハ外國米ト内地米ヲ混合シテ賣ッテ居ル所ガ随分多イデアリマス、ソレ等ヲ以テ見マシテモ必ズシモヤハリ下層界ノモノバカリ需用ニ供セラレズシテ、寧ロヤハリ或程度ノ外國米ヲ混用スルヤウデアリマスカラ、段々米モ馴致シテ參リマスルト此需用モ殖エテ來ルカモ知レナイ、サウスルト云フコト必ズシモ下等デアアルカラ内地品トノ競爭ノ狀態ニ入ラヌト云フコトハ言ヘナイノデ、現在モ即チ混用シテヤッテ居ル、是ガ段々殖ヘテ參リマス、即チ是ガ或程度ニ於テハ競爭ニ至ルト云フコトモ免レナイト思フ、故ニヤハリ

同ジ米デアリマスカラシテ品質ノ多少異ナル故ヲ以テ之ガ競爭ニナラヌト云フコトハナカラウト思フ、殊ニ安イ米ヲ漸々入レテ參ルトスレバ、即チ内地ノ米ノ影響ヲ受ケテ安クスルト云フコトノ意味カラ、即チソレハ何デアアルカト云ヘバ、ヤハリ大體ノ上ニ於テ用途ガ他ニ出ルノデアアルカラ、競爭品タルコトハ免レヌノデアリマス、斯ウ云フ考ヘテ有ッテ居リマス

○委員長(板東勘五郎君) 今大藏省ノ政府委員ガ他ノ委員會ニ出ルノデ差支ガアリマスカラ、農商務省ノ方ハ後トヘ廻シマシテ大藏省ノ方カラ質問シタイト思ヒマス——チヨット委員諸君ニ御諮リ致シマスガ、菊池侃二君ヨリ此問題ニ付キマシテ一ツノ御意見ガアルカラ其意味ニ於テ政府委員ニ質問致シタイ、委員外デゴザイマスケレドモ許シテ宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(板東勘五郎君) 菊池サン此場合ニ……

○菊池侃二君 委員外ノ者デゴザイマスガ御許シテ得テ此關稅法案中ノ骨炭ナルモノニ付キマシテ大藏省ノ御意見ヲ拜承致シタイデアリマス、尤モ長クハ陳述ヲ致シマセヌ、二三點デアリマスガ、此骨炭ニ付テハ其物ノ輸出國ニ於テ砂糖製造品、之ヲ再ビ砂糖製造ニ用ウルコト能ハザルモノガ輸入シ來タルコトモアリト承ルノデアリマス、サウ云フ種類ノモノハ此無稅ノ中ニ加ハルコト能ハザルカト云フ意味デアリマス

○政府委員(菅原通敬君) 其事ニ付キマシテハ前會ニ於テ板東君ヨリノ御問ニ對シテ御答致シタルコトコロニ於テ、略々明瞭デアラウト思ヒマスガ、唯今御述ベニナリマシタ再ビ製糖用ニ供スル能ハザルモノ、是ハ少シク其御言葉ガケデハ漠然トシテ居ルノデアリマシテ、再ビ製糖用ニ供スルコトノ出來ルモノデアアルヤ否ヤ、其品質ガ如何ナル形狀ニナッテ居ルノデアアルカ、又如何ナル性質ニソレガ變ジテ居ルノデアアルカ、實際ノ事實問題トシテ見ルニアラザレバ、ドチラトモ決スルコトノ出來ヌモノガアラウト思ヒマス、併ナガラ先ヅ今御問ノ趣意ヲ酌ミマシテ、何人ガ見テモ是ハ再ビ製糖用ニ供スルコトノ出來ナイモノデアアル、斯ウ云フヤウニ斷定ノ出來ルモノデアリマスナラバ、ソレハ多分肥料用以外ニハ供セラレヌモノデアラウト思ヒマス、若シソレガ肥料用ニ供スルモノデアアル、肥料用以外ニ供セラレヌモノデアアルナラバ、肥料用トシテ無稅ニナル譯デアリマス、是ハ現行ノ取扱ニ於テサウ致シテ居リマス

○菊池侃二君 菅原局長ノ御答ノ通りニ、品質ニ依ッテ關稅官吏ガ認定スルコトデアルト云フコトハ了承致シタデアリマスガ、茲ニ輸入シ來ルトコロノ骨炭ガアル、輸入營業者ハ肥料ノ外用ニル能ハザルモノデアルト主張シ關稅當局者ニ於テハ尙ホ疑ヒノアルモノナリト認メマス、斯ウ云フ場合ニ於テ此品物ハ輸入以後必ズ肥料ニ用非ラルベキモノトシ、又事實肥料ニ用非ラレタモノトセシカ、是デモ尙ホ其ノ有稅主義ヲ取ルトスルト、第一ニハ收稅ノ稅金額ニ於テ非常ナル不權衡ヲ見ルコトニナリ、第二ニハ此農業進步ニ大ナル關係ヲ有スルコトナル、其事ヲ少シ進シテ申シマスレバ、此肥料骨炭ノ稅金ハ此法案ニモ示サレテアル通り、其他百斤ニ付テ四十錢トアルノデアリマス、砂糖製造用トシテ輸入スルモノハ其價格ハ其品質ト時價トニ依テ一定ニ申述ベルコトハ能ハザルモ、凡ソ十圓内外ト見テ可ナリ、十圓内外ノモノニ對シテ四十錢ノ關稅ヲ取ルトスレバ、價額

二十五分の一ノ稅額トナルノデアリマス、若シ之ヲ肥料トシテ輸入スルモノトシタトキニハ、其價額ハ是モ時價ト品質トニ依テ一定ノ申立ハ致スコトハ出來マセケレドモ、約百斤三四圓ノモノト看做テ可ナリデアリマス、之ニ對シテモ尙ホ四十錢ヲ取ルトスルナラバ殆んど一割ノ稅ヲ取ルト云フコトニナルノデアリマス、甲者ハ砂糖製造ト申スヤウナル多大ナル利益ヲ有スル事業ニ使用スルモノデアッテ、尙ホ之ニ對シテ價額二十五分の一ノ稅ヲ取ル、乙者ハ全ク農業ノタメニ輸入スルモノデアッテ、サウシテ肥料ハ無稅ト云フ原則ニナッテ居ルモノナルニモ拘ラズ、尙ホ一割ノ稅ヲ取ラネバナラヌト云フ不權衡ナル結果ヲ生ズルノデアリマス、隨テ強ヒテ此農業上ニ於テ多少ノ獎勵ヲスベキモノヲ寧ロ其反對ニ出ル結果ヲ見ルヤウデアリマス、是等ニ付テハ何トカモウ少シ大藏省ニ於テ農業者ヲ保護スルタメニ肥料ハ無稅ト云フ徹底スベキ方法ヲ御考ヘガナイモノデゴザイマセウカ、今前二陳述スル通り單ニ肥料ナリトシテ見ルコトガ出來ズシテ、高イ稅ヲ取ツタモノデモ其品物ヲ必ズ肥料製造ニ用ヒタル證據立ガ出來タナラバ——其證據立ノ方法ハ他ノモノニ行ハレテ居ル方法ヲ取ルノデアリマスガ、免ニ角其モノガ肥料ノミニ用非ラレタト云フ證據ガ立ツタナラバ、彼ノ戻稅ノ法ヲ用非ラレト云フヤウナコトヲ爲サレマシテ、サウシテ農業者ヲ保護シテ肥料無稅主義ヲ御取リニナルト云フヤウナコトハ出來ナイデアリマセウカ、此問題ニ付テハ從來幾多爭ヒガ起ッテ、爭ヒト申シマシテモ稅關吏ト當業者ノ見解ガ違フモノデアリマス、現ニ此法案ニアルトコロノ無稅トセントスルトコロノ此ノ極メテ細カナルトコロノ骨炭末ニ付テモ今既ニ關稅ヲ徵收セラレツ、アルモノモアル位ナコトデアアルノデアリマス、要スルニ今ノ御尋ニ付テハ何トカ其目的ヲ達シ得ベキノ御考ヘナイモノデアリマセウカ

○政府委員(菅原通敬君) 御尋ノ要點ハ一旦有稅トシテ入ツタモノデモ、ソレガ肥料トシテ用非ラレタト云フ證明ノ出來タ場合ニ於テハ、戻稅ヲナシテ無稅ト入ツタモノデアルト同様ノモノニ取扱フコトガ出來ヌカ、斯ウ云フコトニ歸着スルヤウニ考ヘタノデアリマス、申上ゲルマデモナク大藏省ト致シマシテモ此農業ノ保護ト云フヤウナコトハ、最モ注意ヲ致シテ居ルノデアリマス、肥料ニ付テハ總テ無稅ニスルト云フヤウナコトモ、結局ソレ等ノ主意カラ生ジテ居ルノデアリマス、今回骨炭ノ或ル大キサ以下ノモノニシテ專ラ肥料ニ用非ラレルモノハ、之ヲ無稅ニシヤウト云フ發案ヲ致シタノモ、其主旨カラ生ジテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ大體ニ於テ此農業保護ノタメニ肥料ニ供スルモノト云フヤウナモノニ對シテハ成ルベク無稅ニ致スコトカ、稅ヲ減ズルト云フ方針ヲ執ッテ居ルノデアリマス、是ハ既ニ御承知ノ通りデアリマス、併ナガラ一旦有稅ヲ引取ツタモノニ對シテ肥料ニ供シタト云フ證明ガアツタカラソレニ對シテハ戻稅ヲスル、證明ガ無カッタカラ、ソレニ付テハ有稅ノ儘置ク、斯ウ云フヤウナ取扱ヒヲ關稅ノ上ニ於テ致スコトハ、是ハナカク其實行ノ出來ヌコトデアアルノデアリマス、御承知ノ通り今日ノ關稅ノ定率法ハ何レノモノヲ御覽下サイマシテモ解ルノデアリマスガ、此品物ガ後ニ何ニ用非ラル、モノデアルカト云フヤウナ用途ヲ其場合ニ見テ其用途ノ如何ニ依テ稅率ヲ左右ニスル、稅率ノ適用ヲ左右ニスルト云フヤウナコトハナイノデアリマス、即チ物ノ性質ノ上カラ——物理的性質ノ上カラ、此モノハ是デアルガ故ニ此稅ヲ課サナケレバナラヌト云フヤウニ極ッテ居ルノデ、輸入品ヲ引取ルトコロノ人ガ、何ノ用ニ供スルカト云フコトヲ一々稅關ノ官吏ガ調査シテ證明ヲ取リ

ソレニ依テ稅率ノ適用ヲ左右スルト云フコトハ到底出來ヌコトデアリマス、ソレデアリマスカラ、既ニ課稅ヲ受ケタモノニ付テ用途ガ斯ウデアツタカラ、ソレハ斯ウスルト云フヤウナヤリ方ヲスルト云フコトハ、所詮出來惡クイコトデアアルノデアリマス、唯併ナガラ戻稅ノ方法ヲ新ニ設ケルト云フコトニナリマス、是ハ又別ノ問題ニナルノデアリマセウ、ソレハ戻稅ニ關スル方ノ規定ヲ御覽下サレバ分ルノデアリマス、ガ今御話ノ如キ骨炭ノヤウナモノハ普通ハ工業用、即チ砂糖製造用ニ使ハレラガ、場合ニ依テハ或ハ肥料用ニ供セラレルト云フモノデアリマス、斯ウ云フ區別ガアルト致シテ工業用ニ使フモノトシテ稅ヲ取ツタモノニ對シテ後ニ至リ、肥料用ニ供スルト云フ證明ガアツタカラシテ之ヲ無稅ニスルトカ、戻稅ヲスルトカ云フコトニナルト、百般ノ稅率モ亦サウナケレバナラヌト云フコトニナルノデ、御趣意ノアルトコロハ拜承致シマスガ、實行上頗ル困難デアル、寧ロ專ラ農業用、即チ肥料用ノ如キモノハ、前以テ無稅ニスル、斯ウ云フヤウナ途ヲ開クガ一番簡便デアル、即チ或ル大キサ以下ノモノハ無稅ニスルト云フヤウニスルノデアル、ソレハ何ンデアルカト云フト、是ハ偶ニ工業用ニ供スルコトガアルトシテモ、先ヅ主トシテ農業用ニ使ハル、モノデアルカラ之ヲ無稅ニシヤウ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレハ見切リノ付ゲトコロデアリマスカラ、專ラ肥料用ニ供セラレ、モノデアルナラバ、寧ロ最初ヨリ免稅ノ方法ニ依ルガ宜イト思ヒマス、菊池君ノ述ベラレタモノハ多分殘滓ト云フモノデアルト思フガ、ソレナレバ最初カラ肥料用ニ供スベキモノトシテ無稅ニ入ル途ガアルノデアリマスカラ、今御話ノヤウナ問題ヲ生ズル機會ハナイヤウニ考ヘマス、若シ又別ノモノニ付テノ御話ナレバソレマデノコトデアリマス

○菊池侃二君 第一ニ御尋シタ問題ニ付テハ事實問題デアアルガ、其品物ガ完ク工業用ニ用非ズシテ肥料ノミニ用ウルモノナレバ、專ラ無稅ノ取扱ヲスルト云フ御答ヲ得テ満足致シマス、尙ホ是ニ類似ノモノデアリマスガ、先年大藏省ニ於テ訴願ノ判決モアリマシタ、其骨炭末ナルモノニ此土ナドヲ混ジテ、サウシテ事實肥料ニ用ユル外他ニ用ユルコトノ出來ナイト云フ明カナルモノニ付テハ、前ニ訴願判決ノアリシ如ク將來ニ於テモ法文ニ明文ガ無クテモ、サウ云フモノハヤハリ無稅主義ヲ御執リニナルモノト確信シテ居ッテ宜シウゴザイマセウカ

○政府委員(菅原通敬君) 左様デゴザイマス

○菊池侃二君 私ハ大藏省ニ御尋デハアリマセヌガ、此處デ一點委員諸君ニ希望ヲ申述ベテ退キタイト思ヒマス、宜シウゴザイマセウカ

○委員長(板東勘五郎君) ソレハ構ヒマセヌガ、質問ヲ少シ急ギマスカラ極ク簡單デアリマセウカ

○菊池侃二君 簡單デアリマス、私ハ此委員會ニ希望ヲ申述ベテ御參考ニ供シ、且御勘考ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス、其コトハ二點アルノデアリマス、關稅官吏ガ此骨炭ノ輸入物ニ對スル取扱ガ免角冷酷ニ流レテ居ルトカ、無稅トナルベキモノデモ有稅主義ヲ執ツタ例ガアル、ソレハ空談ニアラズ實見ノ事實デアリマス、既ニ關稅官吏ガ有稅トシタノヲ大藏省デハ訴願ノ結果無稅トシタ事例モアリマス、是ノミナラズ總テノコトモサウデアリマスガ、就中農業ノ發展等ニ關スル此肥料ノ輸入稅ヲ審查スル場合ニ於テハ、成ベク肥料無稅主義ノ精神ニ依ッテ杓子定規ニ依ラズシテ、唯今ノ御確答カラ考ヘテ必ズ是ハ肥料ニ用ウルモノトアル以上ハ、唯今菅原局長ノ第一ノ御答ノ如ク、ドウモ是ハ肥料

ニナルヨリ外ナイト云フモノニ對シテハ、杓子定規ナク無稅主義ヲ徹底スルヤウニ關稅官吏ニ訓令スルヤウニ、大藏省ニ御請求下サルヤウニ希望致シマス、第二ニハ第二ノ問題ニ菅原局長カラ御答ガアツタ通り、戻稅ト云フコトハ困難デアル、寧ロサウ云フ目的ガアレバ法律ニ加ヘタ方ガ宜イ、寧ロ加ヘナケレバナラス、戻稅主義ハイカヌト云フコトデアツタノデ、ナルベク此骨炭ノ第一ノ處ニ徑一、二五「ミリメートル」ヲ圓眼ヲ有スル篩ヲ通過スルモノ、下ニ「及砂糖製造ノ殘滓」ト云フ文字ヲ是ニ加ヘ下サルコトニ付テ、御審査ガ出來得ルナレバ一般當業者トシテ非常ニ便利デアルト信ズルデアリマス、ソレダケ申述ベテ退キマス

○委員長(板東勘五郎君) 大藏省ノ政府委員ニ御質問ノ殘ツテ居ルトコロヲ……

○丸尾光春君 政府委員ニ御尋致シマスガ、自分ハ先日日本會「コンデンスミルク」ノ關稅引上ヲ要求致シマス當時ニ說明ニナリマシタガ、其說明ハ四割ノ課稅ニ相當シテ居ルカラ、尙ホ是以上ニ關稅ヲ上ゲル必要ハナイト云フ政府委員ノ御答デアリマシタガ事實其通りデアリマスルカ、念ノタメニ伺ヒマス

○政府委員(菅原通敬君) 前會「コンデンスミルク」ノ關稅ノ保護並ニ内地製造ニ對スル砂糖消費稅ノ戻稅、此モノヲ相合スルト云フト、略々四割位ノ保護ニ當ルモノデアルト云フヤウナコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、ソレニ對スル唯今ノ御問デアリマスルガ、其時ニ於キマシテハ勿論精細ナル計算ヲ以テテノ話デナカッタノデアリマス、大體其位ノ見當ニナルダラウ、何トナレバ之ト政府ノ提案ト云フモノガ四割ニナツテ居ル、トコロガソレヲ二割ニ引下ゲルト同時ニ砂糖ノ戻稅ヲ從來ノ通り繼續セル、斯ウ云フヤウナコトデアツ「コンデンスミルク」ニ對スル保護ト云フモノハ、四割ヨリモ減セヤウト云フトコロノ趣旨ガナカッタノデアリマス、ソレデアリマスカラ先ヅ大體ニ於テ四割見當ノ保護ニナツテ居ルモノデアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシタガ、尙細カク其計算ヲ見マスト云フト、砂糖ノ戻稅ハ大體ニ於テ生産價額ニ對シテ一割五分位ノモノニ當ルヤウデアリマス、關稅ノ方ガ二割、砂糖ノ方ガ一割五分、合セテ二割五分位ノ保護ニ該當スルダラウト云フ位ニ考ヘテ居リマス、前會四割ト申上ゲマシタノハ、唯今申ス通り精細ナル計算ヲシタ結果デナイノデアリマスカラ、多少ノ相違ハアリマスガ、先ヅ三割五分位ト御覽ニナツテ宜カラウト思ヒマス

○丸尾光春君 サウスルト前會ノ御說明ヨリハ五分違フデスガ、マア其位ノコトハドウデモ宜シイデスガ、輸入煉乳ニハ其使用サレタル砂糖ニ消費稅ノ賦課ハナイト云フコトヲ聞イテ居リマス、隨ツテ内地ノ製煉乳業ニ對スル戻稅金ハ輸入煉乳ニ對照シテ關稅定率ト同一視スベキ性質ノモノデナイト云フコトヲ唱ヘテ居リマスガ、其通りデアリマスカ、政府ノ見ルトコロハドウデスカ

○政府委員(菅原通敬君) ソレハ左様ニモ見ルコトガ出來ヤウト思ヒマス

○丸尾光春君 兎ニ角四十四年ノ七月關稅定率ガ改正サレタ當時ニ、政府ノ原案ガ今我邦ノ煉乳業者ガ主張スル如ク、外國品ヲ十一圓十錢ニシテ欲シイト云フ政府ノ提案ト同ジコトナノデアリマスルカラシテ、此内地ノ製品保護ノ上ニ付テ之ヲ同意ナサルコトハ出來ヌデアリマスルカ、或點マデハ御同意下サルカ如何デス

○政府委員(菅原通敬君) 此砂糖ノ消費稅ノ戻稅ハ廢メマスノデアリマスルカ

○丸尾光春君 兎ニ角サウ云フ問題ハ總テ包含致シマスルカラシテ、現行法ノ倍額ニサヘ上ルナラバ輸入煉乳ヲ或所マデ防禦ガ出來ル精神ナノデアリマス、其砂糖ノ戻稅トカ何トカト云フ、サウ云フムツカシイコトハ、ソレハ問題外トシマシテ——サウスルナラ其中ニ包含シテ居リマスカラ……

○政府委員(菅原通敬君) 唯今ノ輸入品ニ對スル保護ハ、關稅ノ二割ト、砂糖消費稅ノ戻稅ト相合セテ一ツノ保護ヲナシテ居ルノデアリマスカラ、アナタノ今ノ御說ハ砂糖ノ戻稅ヲ廢メテ單ニ關稅ダケヲ四割ニ上ゲテ、サウシテ十一圓十錢ノ稅率ニ引直スト云フ御考デスカ

○丸尾光春君 サウデス、消費稅モ私ハ包含シテ居ル、ソレハ保留シテ置ク積リデアリマス、包含シテ居ルト云フノハ其精神ナノデス、私ノ質問ガ極ラヌ譯ナラバ政府ノ答辯モ極ラヌ譯デアリマスケレドモ、自分ノ主張シテ居ルコトハ自分ニハ分ツテ居リマスガ、政府ハ如何デスカ、ソレニ付テ御同意ハ出來ヌノデスカ

○政府委員(菅原通敬君) 御同意ハ致シマセ

○丸尾光春君 其同意ノ出來ヌ理由ハ先般承ツタト同ジデアリマスルカ

○政府委員(菅原通敬君) 大體左様デアリマス

○丸尾光春君 先般承ツタ說明モ或點マデハ了解致シマシタガ、我邦ノ煉乳ノ概況ヲ其後調べ見マスト、政府委員ハ非常ナ少額デアルガ如クノ御說デアツタカラシテ、サウシテ過半ヲ海外カラ仰イデ居ルガ故ニ少數煉乳業者ノ保護ノタメニ全國民ガ高イ金ヲ拂ツテ用非ルコトガ出來ヌト云フ當時ノ御說明デアツタケレドモ、煉乳ノ生産高ヲ調べ見ルト、内地ノ煉乳高ハ漸次増加シテ四十一年度ニハ六萬四千圓、四十二年度ニハ八萬八千圓、四十三年度ハ十五萬圓、四十四年度ハ二十二萬圓、大正元年度ハ四十三萬圓、大正二年度ニハ約八十八萬圓ニ達シテ居ル、而シテ輸入煉乳高ハ二萬圓デアリマスルカラシテ、殆ド三分ノ一マデ達セントシテ居ル、デアルカラ今此處デ政府ガ少シ此煉乳ニ保護ヲ加ヘルナラバ、輸入煉乳ヲ壓倒シ得ルト私ハ思フガ故ニ、此關稅引上ヲ主張スルモノデアリマス

○政府委員(菅原通敬君) 丁度今御讀ミニナリマシタ通り、内地ノ煉乳ノ製造ト云フモノガ、四十一年カラ大正二年マデノ間ニ大ナル進歩發達ヲ爲シテ居ル、四十一年ニハ六萬四千圓デアツタノガ大正二年ニハ八十八萬圓、私ハ此八十八萬圓ニ付テハ確カナルモノデアルヤ否ヤハマダ確メマセヌガ、今姑ク之ニ依テ申シマスト八十八萬圓デアル、非常ナル長足ノ進歩ト見テ宜イト思ヒマス

○小山谷藏君 其前年ハ幾ラデスカ

○政府委員(菅原通敬君) 前年ハ四十三萬圓、其前年ガ二十二萬圓、斯ウ云フノデ殆ド前年ニ對シテ倍位ノ發達ヲシテ居ル、是ハ偏ニ今ノ關稅ノ保護或ハ砂糖消費稅ノ戻稅ノ效果ト見ルノデアリマス、斯様ニ進歩ヲ爲スベキダケ十分ナル保護ヲ受ケテ居ル所ヘ、更ニ關稅ノ引上ヲシテ、サウシテ一般消費者ノ負擔ヲ増加スルト云フヤウナコトヲスルノハ餘程考ヘモノデアラウト思ヒマス、近來外國ヨリ入ッテ來ルトコロノ煉乳ノ價格ハ非常ニ廉ク、非常ナル競争ヲ以テヤツテ來ル、斯ウ云フ事實ヲ見テ、直ニ内地煉乳業者ノ利害ヲ考ヘルコトニナルト、或ハ尙此以上ニ保護ヲ厚クセバナラヌト云フヤウナ必要ノ

理由モ生ジマセウ、併ナガラ他方ヨリ之ヲ見マス、最前ニ舉ゲラレタモノハ一時ノ現象ニ止マルモノデハナシカ、之ヲ以テ繼續シテ行クモノトスルナラバ宜シイガ、然カラザルニ今日直ニ關稅ノ定率ノ改正ヲ行フヤウナコトハ甚ダ早計デハナシカト思ヒマス、今マデ容易ニ頭ヲ擡グルコトが出来ナイ狀態ニアルナラバ、ソレモ考メノデアリマスケレドモ、毎年々々倍加シテ其生産額が増加シテ居ル、是ハ生産業者モ非常ニ勉強ヲ以テヤツテ居ルニハ違ヒアリマス、メイケレドモ、ドウモ是レデハ保護ガ足りヌガ爲メニ發達が出来ヌト云フコトノ證明ガ如何デアラウカト思ヒマス、尙ホ是レハ熟考ヲ要スベキ問題デアラウト思ヒマス

○森田俊左久君 唯今煉乳ノコトニ付テ御説明ガアリマシタ、多少意見ニナルカモ知レマセヌガ、政府ノ見ル所デハ畜産業ノ發達ノ程度、外國ニ於ケル發達ノ程度ト我國ノ發達ノ程度ト云フコトハ無論今日デハ同一デハアリマセヌガ、外國ノ近來這入ル所ノ煉乳ハ年々歳々廉價ニナツテ居ル、是ハ一時ノ現象カモ知レヌト云フ御話デアリマシタガ、私ノ取調ベタ所デハ外國ノ畜産業ノ發達ト云フコトハ、殆ド我國ノ數倍ヲ以テ進ミツ、アル、此處二年三年ヲ經過シタナラバ、此輸入價格ト云フモノハ競争シナクテモ事實ニ於テ廉ク這入ルダケノ進歩ヲシツ、アルデアリマス、政府ノ見ル所ハ唯一時ノ現象ニ止マルノデハナシカト云フ御疑ヒノヤウデアリマシタガ、其邊ノ御調査ハドウ云フモノデアリマセウカ、又近來長足ノ進歩ヲ我國ガ致シマシタコトハ一昨年來ノ關稅改正其他保護ノ方法ノ稍、宜シキヲ得タ爲メニ、二三年來頗ル増加シタヤウナコトモアリマス、ケレドモ此上外國品ガ尙ホ三分ノ一若クハ半額位テ輸入シテ來ルト云フコトノアツタ場合ニハ——是ハ現ニアルデアリマスガ、又兩三年前ノ煉乳業者ノ悲境ヲ再ビ繰返スヤウニナルコトハ事實デアラウト思ヒマス、其邊ニ付テ今一應御意見ヲ承リタイ

○政府委員(菅原通敬君) 亞米利加其他外國ノ煉乳事業ト云フモノ、發達シテ居ル有様ハ、到底我國ノ比ニアラズト云フコトハ全ク御述ベニナツタ通りニ私モ考ヘテ居リマス、併ナガラ最近ノ事實——四打九圓三十錢ト云フヤウニ價格ヲ引下ゲテ、而モ種々ナル競争ノ方法ヲ講ジテ以テ內國ノ煉乳ニ相當ラウト云フヤウナコトニナツテ來マシタコトハ全ク近來ノコトニ屬スルノデ、外國ノ煉乳業者ガ長ク競争ヲ繼續シテ行クヤ否ヤ、是レハ餘程疑問デアラウト思ヒマス、何トナレバ既ニ二割若クハ二割ト云フコトコロノ、コチラニハ保護ガアル、其境壁ヲ越エテ尙且ツ今日ノ競争ヲ繼續シ得ルヤ否ヤト云フコトハ餘程考ヘモノデハナシカト思フ、一時「スタンダード」ノ石油ノ如キモ非常ニ勢ヲ以テ日本ノ石油ヲ壓倒シヤウト仕掛カッタ、ア、云フ場合ニ於テ如何ニ關稅デドウシヤウトシタ所ガ追付カヌ、所ガアノ競争ト云フモノハ長ク繼續スベキモノト或ル人ハ見タカモ知レヌガ、併ナガラ今日ニ於テハ日本ニ對スル競争ノ急斷ツタト云フコトモアルヤウニ、ソコヲ趨勢モ見テ、然ル後ニ靜ニ考慮シテ稅率ノ改正ノ如キハシナケレバナラヌ、今直ニ斯ウ云フコトガアルカラ、其ニ對シテ斯ウシナケレバナラヌト云フコトヲスルノハ甚ダ輕卒デハナシカ、免ニ角政府トシテモ今回問題トナツタ事柄デアリ、又諸君ノ御説ヲ承ツテ居リマスカラ、更ニ政府トシテハ調査ヲ繼續致シマス、致シマスケレドモ今日ノ場合直ニ之ヲ改正スルト云フコトニ御同意ハ出來兼ネマス

○森田俊左久君 モウ一ッ伺ヒマス、唯今ノ御説デハ一時ノ現象デアッデ此保護ガア

ル爲メニ、此保護ニ打勝ツ爲メノ現象デアッデ、自然ノ結果デナシ、此一時ノ現象ハ他日永續スルモノデナシト政府ハ見ル、ソレデハ自然畜産業ノ發達ニ伴フ價格ノ廉價ナルモノデナクシテ、競争ノ爲メノ廉價ナルモノデアルト云フコトニ御認メニナツテ居ルト解釋シテ宜シイデアリマス

○政府委員(菅原通敬君) 其等ノ點モマダ十分ナル調査が出来テ居リマセヌデアリマス

○小山谷藏君 唯今ハ論議ノ問題デナシ、他ノ方ニ移リマスガ差支ゴザイマセヌカ

○委員長(板東勘五郎君) 宜シウゴザイマス

○小山谷藏君 過日「パラフィンワックス」ノコトデ政府委員ニ御願シテ居ツタ調ベガ御出來ニナリマシタナラバ、其材料ヲ得タイノデアリマス、即チ「パラフィンワックス」ヲ四十五度マデ無稅デ輸入スルコトニナツタトカ、若クハ其以前ハ五十度マデ無稅ニ輸入シタト云フコトノ爲メニ、營業者ニハ影響ハナシカト云フコトヲ參考ニスル爲メニ請求シテ置キマシタガ、何ニカ御話ハゴザイマセヌカ

○政府委員(菅原通敬君) 「パラフィンワックス」ヲ四十五度ヲ超ヘザルモノヲ無稅トスルガ爲メ營業者ニ及ボス影響ト云フコトニ付キマシテハ、前會チヨット申述ベマシタ通り木蠟業者ニ對シテハ差シタル影響ハナカラウ、何故カト云フト近來ニ於テモ此四十二度以上四十五度以下ノモノハ、殆ド輸入ヲ見ナイヤウナ狀況ニナツテ居リマス、今ソレヲ四十五度マデ無稅ニシタ爲メニ木蠟業者ガ困ルト云フヤウニハ考ヘラレマセヌデアリマス云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、ドウモ其以上何等調査ヲ致シマシテモ此通りノ事實デアルト云フコトヲバ、具體的ニ申ス材料ハナイノデアリマス、茲ニ農商務省ノ統計ニ依リマシテ木蠟製造ノ額及ビ輸出額等ノ調ベハアリマシタケレドモ、其外ニ新ナル材料ト致シマシテハ、更ニ御目ニ掛ケルヤウナモノガゴザイマセヌ、甚ダ残念デゴザイマス

○小山谷藏君 此以前「パラフィンワックス」ヲ五十度マデ無稅ニ輸入シタ時分ニ、木蠟業者ハ大變迷惑ヲシタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、其時代ハ五十度マデ無稅ニシタコトニ依ッテ、木蠟業者ガ打撃ヲ受ケラレタノハドウ位ノ程度デアリマシタカ、ソレデ分ツテ居ルトコロヲ大體宜ウゴザイマスカラ伺ヒマス

○政府委員(菅原通敬君) 五十度マデ無稅ニシタ爲メニ、木蠟業者ガドウ云フ影響ヲ受ケタ、而シテ其結果ガ生産數量ノ上ニドウ云フヤウナ影響ヲシテ居ルカト云フコトヲ數字のニ説明スルコトハムヅカシウデアリマス、何トナレバ生産數量ト云フヤウナモノニマデ影響ヲセヌ中ニ、改正ガ行ハレタト云フコトニナツテ居ルト見エルデアリマス、木蠟ノ製造業者ガドレ程ノ打撃ヲ受ケタカハ、數字ノ上ニ於テハ説明ガムヅカシイデアリマス

○小山谷藏君 數字ノ上ニ説明が出来ヌト云フ、詰リ材料ヲ持タヌヲ強イテ御尋ラシタトコロガ要領ヲ得ヌノハ明カデアリマスカラ申シマセヌガ、私ノ記憶スルトコロニ依レバ五十度以下ヲ無稅ニ許シタノハ、確カ三年以上三互ツテヤッタト思ヒマスガ、兎ニ角御調査ガ無クシテ改正サレルト云フコトハ、甚ダ輕卒ナル改正ヲサレルトデハナシカト考ヘマス、デ總テ此事ニ付テハ若シモ少シ御調ベ下サレバ材料ガアルデハナシカト考ヘマスカラ、是ダケ申シテ置キマス、ソレカラ此燐寸ノコトニ付キマシテ軸木ニ關係ノコトヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス燐寸ノ軸木ハ從來ハ内地及北海道ニ產出ラシタ、之ヲ原料トシテ燐寸ヲ造リ、

更ニ海外ニ向テノ重要輸出品ノ一部ヲナスヤウナ盛況ヲ呈シタルノデアルガ、近年ニ至ッテ軸木が缺乏シテ參ッテ、其缺乏ノ程度ハ已ニ外國ニ向ッテ其原料ノ供給ヲ仰ガナケレバナラヌ、ツレバ或種ノ商人ハ隨分高イ費用ヲ拂ッテ非常ナル危險ヲ冒カシテ其原料ノ探檢スラモ企テ、其需用ニ應ジツ、アル、又應セントシツ、アルト云フコトヲ承知シテ居リマス、農商務省ノ技師デアッタ思ヒマスガ、其調査ニ西比利亞ノ内地ニ入ッテ非常ナル危險ニ逢ツタカノ如クニ承知シテ居リマス、而シテ内地ニ於ケルコロノ原料ノ生産ハドウ云フ状態カト云フト、今ヤ非常ニ不便ナル山奥ニ入ル、即チ鐵道ナリ又ハ舟運ノ便利ノアルヤウナ場所ニハ殆ンド原料トナル木ヲ發見スルコトが出来ヌ、餘程ノ山奥ニ入ッテモ尙ホ且ツ適當ナル木ヲ得ラレマセヌカラ、極ク若カキ木ヲ——言ヒ換レバ五年ナリ十年ナリ經過スレバ適當ナルモノトシテ得ラル、モノヲ、極メテ國家經濟ノ上ニ於テ不經濟ナル若木ヲ亂伐シテ、而シテ焦屑ノ需用ヲ滿タスト云フ状態デアリマシテ、將來ドウナルカヲ考ヘマスト云フト、此内地ニ於ケル原料ハ段々減ッテ來マス、而シテ燐寸ノ生産ト需用トハ非常ニ増進シツ、アリマストコロノ形勢カラ、近キ將來ニ於テ此原料ノ缺乏、換言スレバ此勢ヲ以テ發展シツ、アリマストコロノ燐寸業ヲシテ、近キ將來ニ於テ軸木ノ供給ト云フコトニ大打撃ヲ受ケルノデハナイカト憂フルノデアリマス、是ニ於テ其數量等ハ調ベテ居リマセヌガ、既ニ海外カラ其原料ノ一部ヲ輸入シツ、アルト云フ状態デアルノデスガ、之ニ對シテハ關稅ヲ掛ケテ居ルガ、此燐寸ノ原料タル「パラビンワックス」ナドヨリモモット將來深キ意味ノ關係ヲ持ツ軸木ノ生産、及之ニ對スル影響ト云フ點ニ付テ、政府ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ルカ、私共ノ考トシテハ五年ナリ十年ナリ海外カラ輸入スル原料ニ對シテ關稅ヲ撤廢シテサウシテ、内地ノ山ニ出來ル原料ヲモウ少シ生育セシメ、或ハ之ニ對シテ相當ノ植林ノ途デモ攻究スルト云フヤウナ方法ヲ、豫メ今日ヨリ執ラレル必要ハアルマイカト考ヘテ居リマスガ、之ニ對スル政府ノ御考ヲ承リタイ

○政府委員(菅原通敬君) 唯今小山君ヨリ御述ニナリマシタ事ハ極メテ重要ナル御説ト伺フノデアリマス、如何ニモ此重要輸出品タル燐寸ノ軸木ノ内地ノ生産ト云フモノハ、追々缺乏スルヤウナ状態ニナッテ居ルノデアリマシテ、之ニ對シテハ何等カノ方策ヲ廻ラサナケレバナラヌモノデアルト云フコトニ付キマシテハ、政府ト致シマシテモ既ニ調査ヲ進メツツアルノデアリマシテ、目下關係當局ノ間ニ專ラ研究サレツ、アルノデアリマスガ、今日マデノ所ニ於テハ何等繼マッタ意見ト云フモノガ定ッテ居ラヌノデアリマスケレドモ、極メテ必要ナル問題ト致シマシテ、目下調査中デアルト云フコトヲ申上ケテ置キタイト思ヒマス、ツレカラ木蠟業ニ對スル影響ノ事ハ多分農商務省ノ方ニ幾ラカノ材料ガアルカト思ヒマスカラ、若シアリマシタナラバ御覽ニ入レルコトニ致シマス、當時私共ハ其問題ニ關與シテ居ラナカッタノデアリマスカラ、當時ノ事ヲ能ク承知シテ居リマセヌノデ知ラヌ儘デ申上ゲタノデアリマスカラ御審ヲ願ヒマス

○小山谷藏君 今菅原君ノ御話ヲ伺ッテ、政府ニ於テモ重要ナル問題トシテ折角調査中デアルト云フコトヲ知ッタルデアリマスガ、今日「パラビンワックス」ニ對スル關稅改正案ヲ御提出ニナッテ居ルニモ拘ラズ、此軸木ニ對スル改正案ノ御提出ガナイノハ、私ハ燐寸ノコトニハ門外漢デアリマスケレドモ、餘程不思議ニ思フノデアリマス、此調査中デ政府ノ御意見ガ御極マリニナラヌト云フノヲ、強テドウト云フノモ無理ナ注文カトモ思ヒマス

ガ、出來得ルナラバ本會期中ニ何カ其意見ヲ伺フコトハ出來ナイモノデアリマセウカ

○政府委員(菅原通敬君) 「パラビンワックス」ノ方ハ至極簡單ナル問題デアリマシテ、唯之ヲ無稅ニスルトカシナイカト、或ハ免稅點ノ程度ヲ高メルトカ低メルトカ云フヤウナコトデ、單ニ木蠟業者ニ對スル關係ノミ見レバ足リルノデアリマスガ、軸木ノ問題ニナリマストナカノ複雜シタル關係ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、内地ノ林業ト云フ方ノ關係モ見ナケレバナラズ、又燐寸業者ノ間ニ於テモ意見ガ一致シテ居ルト云フ事デモナシ、是等ノ點ニ於テ廣ク調査致サナケレバナラヌコトニナッテ居リマス、タメニ此案ヲ提出致シマスマデニハ何等ノ極ッテ考ヲ定メルコトが出来ナカッタノデアリマスガ、是ハ餘程重要ナル問題デアリマスカラ能ク慎重ニ調査致シマシテ、次ノ議會迄ニハ何等カノ具體ノ意見ヲ申上ゲルコトが出来ヤウト思ヒマス

○委員長(板東勘五郎君) 如何デスカ、大藏省ニ對シテノ質問ハ此位ニシテ米ノ方へ移ッテハ……

○田邊熊一君 私ハ農商務省ノ政府委員ニ伺ヒマスガ、米ノ關稅ニ付テ提出者ノ熱心ナル御辯明ニ對シマシテハ深ク敬意ヲ表シテ居リマシテ、其精神ニ於テハ同情同感ニ堪ヘマセヌケレドモ、果シテ今日ガ此改正——即チ撤廢ヲナスベキ時機デアルカト云フコトニ付テハ慎重ニ考慮ヲ要スベキ問題デアルト信ジテ居ルノデアリマス、ツレ故ニ米ノ關稅ニ對シマシテ二三政府委員ニ御尋ヲシマス、米ニ關スル關稅ハ現行法ヲ以テ政府ハ完全無缺ト認メテ居ルヤ否ヤ、農產物ガ發達シテ食糧ガ増加スレバ勢ヒ關稅率モ相當ニ改正スルコトヲ認メテ居リマスカ

○政府委員(道家齊君) 唯今ノ御尋ハ現行ノ米ニ對シテ關稅ノ制度ハ完全無缺ナリト認メテ居ルヤ否ヤト云フコトデアリマシタガ、勿論今ノ關稅ガ完全無缺トハ考ヘテ居リマセヌ、併シ米ハ關稅ニ對シテ稅ヲ廢スルヤ否ヤニ付テハ、先刻來御話申シ上ゲタヤウナ次第デ、廢スルコトニハ不同意デアリマス、其理由ハ大要申上ゲタ次第デアリマス

○田邊熊一君 政府委員ハ現行ノ如ク米作ノ豐凶ニ依リマシテ、關稅率ノ適用ヲ當局者ノ自由裁量ニ任セラレテ居ルト云フ精神ニ則ッテ運用宜シキヲ得テ居ルト信ジテ居ルヤ否ヤ、事實ニ於テハ之ニ反スルヤウナ實例ガアル、即チ時シテ關稅ヲ下ゲテモ却テ米價ハ反對ニ上ッテ居ルコトガアッテ、是ハ政府ガ此適用ヲ誤ッタモノト考ヘラレル、而シテ政府ノ自由裁量ニ任セラレテ居ルタメニ非常ニ苦心サレテ、之ヲドウカシテ一定ノ關稅率ニ定メテ貫ツ方ガ、却テ當局者ノ御都合ガ宜イヤウニ私共聞イテ居リマスガ、果シテサウデアリマセウカ、或ハ又之ニ從事スル所ノ商人ノ利害關係カラ考ヘルト、一定ノ關稅率ニカチリテ法律デ極メタ方ガ宜イト云フ意向ヲ有ッテ居ルト云フコトモ聞イテ居リマスガ如何デセウ

○政府委員(道家齊君) 成程現行法ハ關稅ニ付テハ、政府トシテ其時ノ狀況ニ依ッテ斟酌ノ出來ルヤウニナッテ居リマスカラ、其ヤリ方如何ニ依ッテハ豫期ノ效果ヲ上ゲルコトが出来ナイコトモアリマス、ツレバ寧ロ一定不動ノ法ニシタ方ガ宜クハナイカト云フコトモアリマスガ、是ハ今私ガ御即答ヲ申上ゲルコトハ少シク重大ナル事件デアリマスカラシテ、稅其者ニ付テハ所管ハ大藏省デアッテ、豐凶如何ハ農商務ニ關係ガアリマスガ、何レニシテモ此制度ヲ改正スルコトハ慎重ナル考慮ヲ要シマスカラ、私ガ直グニ斯クノ如クデ宜

カラウト申上ケルコトハ甚ダ困難デアリマスカラ、能ク打合セラシテ政府ノ意ノアル所ヲ判然後日申上ゲタ方宜カラウト思ヒマス

○田邊熊一君 吾々ハ此問題ニ付テハ農商務當局ノ意見ヲ交換シタ場合ニ於テ、唯今私が質問シタ同様ノ意味ノ挨拶ヲ受ケタコトガアリマスガ、米ニ對スル關稅ヲ政府ハ改正スルコト云フ内議ノアリシコトハ深ク信ジテ居リマスガ、政府委員ノ答辯ニヨルト改正スル意思ガアルカナイカマデ御明言ガ出來ヌ、又政府ハ改正スル意思ヲ有ッテ居ルト云フコトノ御答辯ガ出來マスガ

○政府委員(道家齊君) 現在ノ制度ニ於テ完全ナリトハ認メテ居リマセヌ、故ニ適當ナル方法ガアレバ改正スルコトモ敢テ不可ハナイト思フテ居リマス、併シ斯ノ如キ重大ナルコトデアルカラ、今之ヲ改正スルニ同意デアルト云フコトヲ此處申上ケルコトハ、少シ自分トシテハ困難致シマス、ソレハ次回ニ於テ政府ノ意思ヲ確メテ申上ゲマス

○田邊熊一君 ソレハ了承致シマシタモウ一ツ伺ヒマス、外國米ハ全國一般ニ或階級ニハ悉ク需要サレテ居リマスガ、若クハ一地方ニ多クシテ一地方ニハ極メテ微々タル需要者シカナイト云フコトヲ認メテ居ルカ否ヤ、私共ノ考デハ關西ノ不作ノ場合ニ於テハ、外米ハ全ク這入ラナイ譯デハナイガ、關西ガ不作ノ場合ニ食料ノ足ラヌ場合ニ内地米ヲ喰ベル、ソレデ東北ノ地方ニ於ケル不作ノ場合ニハ、東北ノ人々ハ外米ヲ頻リニ需要スルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、果シテサウデアルト、其邊ノ御調査ハドウ云フコトニナッテ居リマスガ、伺ッテ置キタイ

○政府委員(道家齊君) 外國米ノ需要ハ殆ド全國ニ亘ッテ消費サレテ居ルヤウニ思ヒマス、併ナガラ其間ニ於テ地方ニ依テ餘程厚薄ハアルヤウニ考ヘマス、殊ニ東北ノ昨年ノ凶作ニ方リマシテ、最モ彼地ノ方面ニ餘程輸入ガ澤山ニアリマシテ、消費モ從ッテ多カッタト思ヒマス、又平常ニ於キマシテモ、ドチラカト申シマスルトヤハリ東北地方ニ需用サレルモノハ、他ノ地方ヨリハ割合ニ多イヤウニ思ヒマス、例ヘバ北ノ方デ見マスルト新潟アタリノ方面ニハ、平生デモ比較的餘計ニ這入り、或ハ又關西地方ヲ見マスルト云フト、大阪トカ云フ方面ハ隨分外國米ガ消費サレルヤウデアリマス、其消費ノ狀況ハ時ノ事情ニ依ッテ餘程ニ厚薄ハアリマスレドモ、大體カラ申シマスレバ各地方ニ外國米ノ輸入ハアル、併ナガラ其多少ハ其地方ノ狀況如何ニ依リマスレドモ、多ク先ヅ消費セラレルノハ、或ハ新潟デアルトカ、或ハ大阪方面デアルトカ云フヤウナコトニ承知致シテ居リマス、丁度私ハ今其調ベタ材料ハ持チマセヌ、併ナガラ大要ハ調ベテ居リマス、御入用ナラバ地方別ノ凡ソノ狀況ハ書面デ差上ゲテモ宜シウゴザイマス

○田邊熊一君 最後ニモウ一ツ——サウスルト大阪方面ハ最モ日本デ工業ノ發達シタ中心デアリマスガ故ニ、其處デ消費サレル外國米ハ工業ニ從事スル勞働者其附屬ノ人ガ多ク用井ルト云フ意味ニ解釋セラレルデアラウト思ヒマスレシ、東北地方デ特ニ新潟御指シナリマシタガ、新潟ニ外國米ノ多イノハサマデ工業モ與ラナイニモ拘ラズ、多ク需用サレルト云フコトハ、畢竟農民自ラ作ッタ米ヲ他ヘ賣ッテ、而シテ廉イ米ヲ買ッタト云フヤウニ思ハレル、政府ノ御見解ハ如何デゴザイマス

○政府委員(道家齊君) 外米ノ需用ハ無論下層社會ノ方ニ多ク消費セラレルコトモ無論デゴザイマスガ、併ナガラ又一面カラ申シマスルト云フト、外米ヲ内地米ト混用致

シマシテ、サウシテ之ヲ消費シテ居ルヤウナコトモアルノデ、ソレガ故ニ唯今ハ全國ノ中デハ殆ド外米ノ這入ッテ居ナイヤウナ所ハ殆ドナイ位ニナッテ居ル、ソレデ先刻申上ゲマシタ東北地方ノ消費ガ昨年カラ今年ニ掛ケテ多イノハ凶作ノ爲メデアラウト思フ、其外北ノ方ニ於キマシテ先刻申上ゲマス通り、新潟デアルトカ其他ノ數縣デアリマスガ、是ハヤハリ或ル所ニ於キマシテハ農家が御話ノ通り内地米ガ値段ガ好イモノデアルカラ、ソレヲ賣ッテサウシテ外國米ヲ食フト云フコトモ無論デゴザイマス、地方ニ依テ餘程事情ガ異ッテ居ルト考ヘマス

○小山谷藏君 政府委員及提案者ニ御尋ネシタイト思ヒマスガ、先程カラ提案者ト政府委員トノ應答ノ話ヲ伺ヒマシテ、政府委員ト提案者トノ間ニ外米ノ輸入關稅ヲ撤廢スルタメニ、内地ノ米價ニ及ボス影響ト云フ點ニ付テ、大分見解ヲ異ニシテ居ラレルヤウニ私ハ拜承シタデアリマス、提案者ノ御意見ニ據レバ、外國米ノ需用者ハ特殊ノ階級デアル、外國米ノ關稅ヲ除イタタメニ内地米ニソレガタメニ被フル影響、即チ米價——米ノ市價ノ影響ハ殆ド無シト云フ御意見デ、之ヲ根柢トシテ提案ノイロ——御意見ガアル、又大藏當局ノ御意見ハ多少ノ保護ニ必要ト認メテ居ル、言ヒ換ヘテ見レバ關稅ヲ置イテアルタメニ内地ノ米製造業者、即チ農民ニ對シテ多少ノ保護ノ効果ハアルモノデアル、斯ウ云フ御意見ノ下ニイロ——御話ガアッタヤウニ思フ、此關係ハ餘程此問題ヲ決定スルニ重大ナル根柢ヲ爲スモノト私ハ信ズルモノデゴザイマス、是等ニ對シテ政府ハ農民ニ與フルトコロノ所謂保護ノ程度ハ、今關稅ハ一石ニ對シ二圓五十錢ノ稅率ヲ課シテ居ルガ、其二圓五十錢ダケノ保護ヲ果シテ與ヘラレテ居ル思召デアルカ、若シ二圓五十錢ノ保護、即チ米價ガソレダケ高クナイトシテ居ルナラバ、如何ナル程度マデ其保護ノ米價ニ與フルトコロノ影響ガアルカ、凡ソドウ云フ御意見デアルカ、又提案者ニ對シテハ全然關稅ノタメニ米價ニ與フル影響無シト云フ御意見デアルカ、若シ有リトスルナラバ提案者ノ農業ニ與フルトコロノ保護ノ程度ハドウ位ノ程度マデノ御意見デ、ソレヲ標準トシテ御議論——御意見ヲ御定メニナッテ居ルカ、兩者ノ此原案ニ對スル程度ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(道家齊君) 現行ノ關稅ハ即チ米價ニ對シマスル無論保護ニナッテ居ラウト思フ、其保護ト云フモノノ程度ガドウ位ノ程度デ適當デアルカ、又今ノ關稅ガドレダケノ效果ヲシテ居ルカト云フコトノ御尋ネノヤウニ伺ヒマスガ、是ハナカ——ムツカシイ問題デ、チヨットソレヲ數字デ現ハスト云フコトハ餘程困難デアラウト考ヘマス、御承知ノ通り米ノ價ガ非常ニ變化ガアル、昨年ノ如キ高キハ一石二十四圓以上ニモ達シタシ、又今年ノ如キニ至リマシテハ十七圓位ニ下ッテ居ル、斯ウ云フヤウニドウモ誠ニ價ノ變動ガ激シイノデアリマスカラ、ソレ等ヲ以テ丁度是ダケ關稅ヲ課スレバ適當デアルト云フコトヲ、數字デ以テ的確ニ言フコトハ餘程困難デアラウト考ヘマス、併ナガラ此ノ如ク昨年ト今日ト比較シテ見マスルト云フト、其價ガ約七八圓モ一石ニ付テ違フト云フヤウナ狀況デアリマスルカラ、尙更此關稅ト致シマシテハ米ニ對シテ保護ヲ加ヘテ置カネバナラヌ必要ガ茲ニ存スルデアラウト思フ、何故カナレバ外國米ハ大體ニ於テ生産費ガ廉イ故ニ内地ノモノヨリハ價ガ廉イ、斯ウ云フヤウナ譯ニナッテ居ルノデアリマス、其際ニ於テ内地ノ米ガ斯ノ如クドン——下ッテ參リマス、其外ニ又廉イノヲ持ッテ來ルト云フコトニナリマスレバ、則チソコ

ラニ於キマシテハ一方ニ此内地ノ生産者ニ對シテ甚ダ不安ナル慮ヲ與ヘテ、廉イモノ、上ニ又廉イモノニナルノデアリマス、是ガ則チ内地ノ米ニ對シテ相當ナル保護ヲ與ヘテ置ク必要ガ——内地ノ米作ニ對シテ保護ノ必要ナル所以デアラウト思フ、又一方ニ於キマシテ、ズット是ガ騰デ參リマスレバ、此ニ於テ又外國米ヲ輸入シテツレヲ抑ヘテ行クト云フコトデアリマスカラ、即チツコデ此價ノ權衡ナリ調和ト云フコトモ一方ニハ取レル譯デアリマス、旁ミデ今日ノ狀況ト致シマシテハ、此保護ヲ加ヘテ置カナケレバナラヌガ、其程度ト云フコトハハッキリ此處デドノ位ノ程度ガ的確デアルト云フコトハ餘程ムツカシイコトダト考ヘテ居リマス、併ナガラ現在ニ於キマシテ其稅ヲ以テ先ツ是ガ相當ダト云フコトデ、是ハ定メラレタコト、信ジテ居リマス

○小山谷藏君 今ノ政府委員ノ御答ガアリマシタケレドモ、私ノ御尋ネシタ要點ニ少ノモ御答辯ガアリマセヌカラ、少シの外レノ御答辯デゴザイマスカラ

○委員長(板東勘五郎君) ツレデハ一層約メテ政府委員ニ御尋ネフ……

○小山谷藏君 私人御尋シマシタノハ此米價ノ騰貴如何、又保護スル必要アリヤナシヤト云フコトヲ御尋シタノデハナイ、又如何ナル程度ニ保護シタラ宜イカト云フコトモ御尋シタノデアリマセヌ、程度ト云フモノハ一石ニ付二圓五十錢ノ稅ヲ課シテ居ルト云フコトデ、其標準ハ明カニナッテ居ルノデアリマス、又保護ノ必要アリヤナシヤト云フコトニ付テハ別ニ私モ意見ハアルノデアリマス、今政府委員ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノハ、二圓五十錢外國輸入米ニ對シテ關稅ヲ課スルタメニ、内地米ニ與フルトコロノ内地米ノ市價ニ及ボストコロノ影響如何、關稅ニ於テ二圓五十錢外國米ニ稅ヲ課シテ居ルガ故ニ、二圓五十錢タケ内地米ノ市價ヲ高カラシメテ居ルト云フ御考デアルカ、或ハ二圓五十錢モ高クナイガ、其五割トカ七割トカト云フ位ハ其關稅ノ幾割ト云フモノガ内地米ニ對シテ内地米ノ市價ヲ高カラシメテ居ルト云フ御意見デアリマス、其邊ノ御見解ヲ伺ヒタイト斯ウ思ヒマス

○政府委員(道家齊君) 尙御尋ノ點ニ御答ガ中ルヤウニト思ヒマシテ重ネテ御伺ヒシテ置キマス、今ノ關稅ノ一石ニ付二圓五十錢ト云フモノガ内地——内地米ノ市價ニ如何ナル影響ヲ與ヘテ居ルカト云フ御尋デスカ

○小山谷藏君 左様デゴザイマス

○政府委員(道家齊君) ツレハ如何ナル影響ト申シマシテ、即チ一石ニ付二圓五十錢ト云フモノ、課テ居ル以上ハ、ツレデケハ即チ此内地米ト云フモノニ對シテツレデケノ保護デアリマスカラ、ツレデケノ影響、即チ内地ノ米ヲツレデケノ鈞合デ即チ引上ゲテ居ルト云フコトハツレハアリマセウト思ヒマス、二圓五十錢ト云フモノガ即チ内地ノ米ノ上ニ於テ影響ヲ與ヘテ居ラウト思フ

○小山谷藏君 然ラバ此際提案者ノ御意見ヲ伺ヒマス

○有森新吉君 私人考ハ勿論其關係ハナイコトハナカルマイト思フテ居ルノデス、ケレドモ併ナガラ今日此統計ヲ見テモ此輸入米ニ稅ヲ課シタナラバ直樣價ガツレデケ高クナルカト云フ事實モ見エヌ、減少シタナラバツレナラバ一般ノ米價ガ廉クナッタカ是モ統計上ニ知ルベキ材料ハナイ、併ナガラ考ヘテ見ルト其物ガ違フカラシテサウ價ハ影響セヌデアラウ、斯ウ云フ考ヲ有ッテ居ルノデス、ツレカラシテ輸入米ニ向ッテ稅ヲ課セラレタコトコガ、

或ハ稅ガナクテモ日本ノ米ヲ作ル農家ニハ左程ノ影響ヲ及ボスモノデハナイ、何トナレバ日本ノ農家ノ作ルトコロノ米ト云フモノハ、一般ガ非常ニ歡迎シテ居ッテ、サウシテ即チ需用ト云フモノガ始終多イデアッテ、何時デモ作レバ直樣賣レルト云フヤウナ狀況デアルカラシテ、一方ノ方ニハ人口ガ増加シ居ルカラシテ、サウ云フ狀況デアレバ此外國米ニ對シテノ稅ト云フモノハ左程影響ヲスルモノデアリマセヌカラシテ、私ノ考ニハ之ヲ外國米ハ成ルベク廉クシテ、サウシテ下等勞働者ノ食料ニ供スルト云フノガ宜イト斯ウ云フ考デアリマス、併ナガラ其全クナイカト云ハレルトマア牛肉ト馬ノ肉ト同ジヤウナモノデ、兩方食物デアルケレドモ牛肉ノ價ニ——馬ノ肉ノ價ノ騰リ下リガ牛肉ノ價ニ及ボスカ及ボサヌカト云フ問題ガアッタナラバ、ツレハ間接ニハ及ボスダラウ、馬肉ガ非常ニ廉クナレバ牛肉ニ及ボスカ知レヌケレドモ、私ハ餘リツレマデ議論ハシナイ、詰リ米ノ輸入稅ヲ廢スルト云フコトノ提案ヲ出シタノハ何デアルカト言フタナラバ、詰リ日本人ノ食フトコロノ食物ガ少ナクテ今困ッテ居ルノデアルカラ、自然ニ外國カラ米ノ這入ルノハ必然ノ勢ヒデアルカラ、之ニ何モ稅ヲ課シテ食物ヲ高クスルト云フヤウナ行爲ヲセズシテ、十分ニ廉クサスガ宜イト云フ、斯ウ云フ見解デアリマス

○小山谷藏君 モウ少シ續ケテ御尋シテ見タイト思ヒマス、サウ致シマスト政府委員ノ御説ハ提案者ノ御考トハ大分其處ニ相違ガアルヤウニ思ヒマス、提案者ノ御意見ニ依レバ全然無關係デアルトハ思ハヌガ、間接ニ多少關係ガアルカ知レヌケレドモ此關稅ヲ撤廢スルト云フコトニ依テ、内地米ノ被ムル影響ハ深タルモノデハナイト云フ、政府委員ノ御意見トシテハ二圓五十錢ノ關稅ヲ課シテ居ル以上ハ、其位ノ保護ヲ内地米ニ對シテ與ヘテ居ルモノト云フ御意見、換言スレバ此二圓五十錢ノ關稅ト云フタメニ、政府委員ノ御説ト提案者ノ御考トハ餘程其處ニ距離ガアルヤウニ思フノデアリマス、此問題ヲ決定スルニ付テ、此關係ガ如何ナル影響ヲ米價ニ及ボスカト云フコトハ、餘程重大ナル要點デアラウト私ハ信ズルノデアリマス、私ハ中間ニ立ッテ此兩者ノ政府委員ト提案者ノ意見ノ相違ヲ——私が中間ニ這入ルト云フト大分混雜シテ參リマス、凡ソ此邊ノ御意見ヲ政府委員及ヒ提案者ノ間デ無論細カキ此數字ヲ明カニスルコトハ出來難イト思ヒマスガ、全體此委員會ノ意見ヲ決定スル上ニ於テ、是ガ重大ナル骨子トナルト信ズルノデアリマス

○加賀卯之吉君 今政府委員ト提案者ニ御尋ネニナッタコトハ幾ラ御請求ニナッテモ要領ヲ得ルモノデナイ、殊ニ私が提案者ニ聞カウト思フノハ、今有森君ノ說明ニ依ルト餘リ大シテ影響ガナイ、間接ニハ幾ラカ影響ガアルダラウト云フ御說明ノヤウニ私ハ伺ッテ居リマス、所ガ此提案者ノ鈴木梅四郎君ガ一番初メニ言フタメニ、確ニ影響ガアルト斷シタ、私ハ昨年ノ時ニ反對シタ一人デアッテ、其時提案者ノ岡崎久次郎君ハ影響シナイト云フ意見ヲ以テ戰ツテ居ッタ、今年ノ提案者ハ影響アリト公言シテ憚ラヌデアアル、所ガ今有森君ノ言フトコロデアハアルカ知ランガツレハ間接ノモノダト云フ御話デアアルガ、提案者ノ意思ガ二ツニナッテ居ル、何方カ極メテ戴カヌト私共ノ意思ハ——私ハ信ズルトコロガアルカラ極メテ居ルガ、他ノ方ガ御迷ヒニナルト思ヒマス、政府委員ノ御答辯ハ確ニ要領ヲ得テ居ル、アレ以上言ヘヌモノデ、是ハ昨年モ私共甚ダ失禮ダガ多少ノ御素人ノヤウナ感ヲ以テ御話シタ、其以上ハ黒人デモナカノ言ヘナイモノデ、頻リニ皆サ

ンニハ米價々々ト仰シヤルガ、マダモット大キナモノガアル、影響スルモノガアル、米ヨリ麥ガ一番大キイ、麥ノ及ボシタ影響ハ決シテ米ノ價ニ及ボス影響位ノモノデナイ、既ニ米價ガ高クナルト副食物ノ麥ヲ多ク作ル、其麥ノ一番ノ敵ハ何カト云ヘバ外國米デアアル、現ニ昨今ノ狀況ニ依ルト、一昨年モ昨年モ米ガ高カッタカラ一生懸命ニ麥ヲ多ク作ッタ、麥ヲ消費シテ米ヲ賣シテ農家ノ收益ヲ増サウト努メツ、アルノハ事實ガ證明シテ居ル、ソレガ故ニ氣候ガ非常ニ良イト云フ氣候デハナカッタガ、二千五百萬石ト云フ前代未聞ノ麥ノ收穫ガアッテ、ソレガ廉クナッテ居ル一圓ニ二斗ニナッテ居ル栃木茨城方面ニ行クト分ルガ一圓ニ二斗マデ賣ッテ居ル、其麥ハ何ノタメニ廉クナッタカト云ヘバ、外國米ノタメニ廉クナッタ今デハ外國米ヲ食ハヌデ麥ヲ食フコトニナッタ、其結果トシテ外國米ノ約束ガ頗ル少ナイ、昨年ハ何百萬ト云フ約束ガアッテ今年ハ僅ニ五七十萬シカ約束ガ出來テ居ラス、麥ガ非常ニ影響ガアル、是ハ當局モ御説明ガ出來ヤウト思ヒマス、米ニ付テハ私共大藏省ノ委員ガ知ッテ顔ニ米ノ影響ガ何トカスルコトガアルトカシナイコトガアルト云フガ、私共影響スルコトハ確ナ數字ヲ持ッテ居ル、ケレドモ其數字ハ政府ノ役人トシテハ責任ヲ以テ答辯ハ出來ヌト云フカラ是ハ已ムヲ得ヌ、吾々民間デ調ベタモノデ數字ノ上ニ影響ノアルコトハ現レテ居ルガ、ソレヲ以テ政府ニ責メテドノ位關稅ガ影響ヲスルカ、一圓五十錢ガドノ位影響スルカト云フコトハ數字デハ出來ヌガ、ソレデハ影響ガナイカト云ヘバ確ニアル、吾々カラ云ヘバ責任ヲ以テ言ウテモ明ニ出來ルガ、政府當局者トシテハ相場ノコトハ言ヘナイコトハ是ハ諒トシナケレバナラス、此事ニ付テ最前カラ田邊君其他カラ御質問ガアリマスガ、去年ノ筆記ヲ讀ムト澤山書イテアル、大藏省ノ當局ト農商務省ノ當局ト頻リニ折衝シテ、數回此問題ニ付テ今ノヤウナ質問ヲ繰返シタコトガアル、ソレヲ御覽ニナルト能ク分ルト思ヒマス、ソレデモ尙分ラナケレバ御尋ニナッテモ宜イガ、隨分回ヲ重ネテ居ルカラ質問ハ是デ打切ッテ討論ニ移リタイ

○有森新吉君 私ハ幾分カアルト云ヒマスガ、全クアルト云フデモ構ヒマセヌ、私ハ責任ヲ持チマス、幾分カアルト云フコトヲ辯明シマス、關係ガ幾分カアルト云ヘバ既ニアルコトニ違ヒナイ、幾何デモ有ルカラアルト云フコトニ付テ、私ハ責任ヲ以テ辯明シマス

○委員長(板東勘五郎君) 鈴木君ガ辯ゼラレタ要旨ヲ摘ミマス、此關稅ヲ撤廢スレバ米ガ下ル、米ガ下ルト貧民ガ喜ブ、勞働賃ガ下ル、サウシテ工業ガ發達スル、斯ウナッテ居リマスガ其通りデスカ

○有森新吉君 私モ其通り、人間ノ食物ニ稅ヲ課スルノガ惡イト云フノガ根本ノ本義デ

○木村良君 私ハ丁度加賀君ガ言ハント欲シタ通りデ、關稅ト米價トノ關係ハ此前今御尋ノ方ガ御出ニナラナカッタ思ヒマス、數回應答ガ出來テ到底具體的ノ數字ヲ以テ表明スルコトハ出來ヌノデ、是ハ各信ズルトコロニ依テ結論ヲ出シテ往クコトガ宜カラウ、從ッテ質問ハ此邊デ打切ッテ討論ニ御入り下サルコトヲ御願ヒ致シマス

○小山谷藏君 今委員長御話デ提案者ノ趣旨ガ明ニナリマシタカラ、其趣意ノ提案ナラ質問ハ申シマセヌ

○委員長(板東勘五郎君) 如何デスカ、大問題ノ討論ニ入りマセウカ、時間ガ大分經チマシタカラ新ニ開イタトキニナルコトニシタラ如何カト思ヒマスガ

○加賀宇之吉君 去年ノ米ノ狀況ト今年ノ米ノ狀況ト大差ガナイカドウカ、去年ト同

ジヤウナ狀況ト見テ差支アリマスマイ、如何デス

○政府委員(道家齊君) サウデス

(討論ヲヤッタ宜イデセウト呼フ者アリ)

○委員長(板東勘五郎君) ソレデハ隨分長クナルト感シマスケレドモ、簡單ニ往キマスレバ米ト粉トノ輸入稅ヲ廢スルコト云フ關直彦君外數名ノ提案ダケノ討論ニ入りマス、二ツアリマスケレドモ案ヲ別ニシテアリマスカラ、別ニ決議ヲ採ルコトニシマス、政府案ノ方ハマダ少シ質問ガ盡キテ居ラスカラ延シマス、米ト粉トノ問題ヲ先ニ決メマス

○丸尾光春君 私ハ此米及粉ノ關稅ノ撤廢ニ反對デアリマス、其理由ヲ少シク簡單ニ述ベテ置ク必要ガアルト思ヒマス、提案者ハ米粉ノ關稅ヲ撤廢スレバ細民ノ生活難ヲ救済シ得ル、斯ウ云フ考ヲ以テ提案サレテ居ルノガ骨子デアアル、併ナガラ私ノ見ル所ニ依リマス調査スル所ニ依レバ、米ノ關稅ヲ撤廢シタルガ故ニ直チニ細民ヲ救済スルコト云フコトハ至難デアアル、寧ロ正反對ノ結果ヲ齎ラスト云フコトヲ實現サレルモノト信ジテ居リマス、ソレハ先ヅ第一ニ世界ノ產米國ノ大勢カラ見マシテモ、五億五千萬石程出來ル、其總數ノ上ニ於キマシテ我國ハ平均五千萬石出來ル、大勢ニ鑑ミレバ必ズヤ其大數即チ五億萬石ハ海外ニ我國以外ニ產出スルノデアルカラシデ、若シモ此關稅ヲ撤廢シタルトキニハ、現在ニ二百五十萬石若クハ三十萬石程ノ外米ガ輸入サレルト云フコトデアルガ、是レハ一年増加シテ行キ、遂ニ一千万石二千万石モ輸入サレルト云フヤウナコトガ必ズ到達スルモノト信ジマス、而シテ左様ナル若シ場合ニ立至リマシタトキニ、我が農村ハ我全國民ハ如何ニ其影響ヲ受ケルカト云フコトヲ研究スル必要ガアリマス、御承知ノ如ク我國ハ凡テモノニ付テ農村ガ六七分ノ勢力ヲ有ッテ居ル、ソレハ國家ノ一年ノ生產高ヲ三十億圓ト云フ人ガアルケレドモ、自分ノ調べル所ニ依レバ先ヅ二十五億ガ全國ノ生產高デアアルカノ如ク信ジラレマス、其中ニ於テ最モ大ヲ爲スモノハ即チ農產物デアッテ、農產物バカリ政府ノ調査セル所ニ依ッテ見マシテモ十八億圓ニ達スルノデアリマス、之ニ由テ見デモ農村保護ト云フ必要ハ大ニアル、若シモ關稅ヲ撤廢シテ漸次外米ガ輸入スルコト云フヤウナコトニ至リマシタトキニハ、我が農村ニ於テ第一ニ倒レルノハ金ヲ借りテ農作ヲシテ居ル人デアアル、第二ニハ惡イ田畑ヲ持ッテ居ル人ガ倒レル、而シテ國家ノ負擔ハ即チ地租ノ七千五百萬圓及縣稅町村稅ノ七千五百萬圓、各ヲ負擔スル力ガナクナル、此ニ至リマシタナラバ則チ其影響スル所ハ測リ知ルベカラザル危險ナ狀況ニ陥ルノデアリマス、而シテ米價ガ下落シタ時ニ於テ、果シテ提案者ノ言フ通り細民ノ生活狀態ガ佳良ニナルカドウカ、農村ガ困憊シタル時ニハ購買力減失ノ結果、其影響ハ商工業界ニ及ビ、細民ハ使雇者ヲ求メルニ困ル、雇ッテ貰フコロノ場處ヲ搜スニ困ル位ニ、凡テノ商工業者モ沈衰ノ狀態ニ陥ルノデアリマス、而シテ米價ノ高キ時ニハ細民ハドウカト云ヘバ、寧ロ中層ノ人ヨリモ細民ノ方ガ生活ノ好イト云フコトハ是迄ノ事實ガ證明シテ居ル、提案者ノ考ヘル所ハ唯々細民ヲ救済スルコト云フノデアルケレドモ、此關稅ヲ撤廢スルコト其結果ハ反對ニナッテ來ル、細民ヲ職業ヲ求ムルニ困難ヲ感ズルヤウナ逆境ニ陥ル、唯米ノ關稅ヲ撤廢シテ細民ヲ助ケルト云フノハ看板ハ綺麗デアアル、看板ハ成程天下ノ人ガ之ニ向ッテ讚嘆敬服スルカモ知レヌガ、結果ハ遂ニ細民ヲシテ自殺セシムル、若シ提案者ガ此案ヲシテ通過セシムルヤウナコトガ萬一アツタ場合ニハ、十數年ノ後ニ必ズ細民ガ悲鳴

ヲ揚ゲル、果シテ然ラバ此關稅撤廢ナルモノハ看板ヲ美ニシテ細民ヲ周圍ニ寄付ケテ置
イテ、細民ヲ締殺サウト云フコトノ事實ニナルデアリマスカラ、吾々ハ輕々ニ斯ル問題ヲ
出シテ討論スル必要ハ更ニナト思ヒマス、其他農村ヲ保護スルノ必要ナルコトハ國家
ノ輸入輸出ノ上ニ見マシテモ、既ニ重要物產ハ農產物デアリ、即チ第一ニ蠶絲、茶、砂
糖、米麥、稗稗、果實、此等が輸出デス、輸入ニ於テモ棉花、米、砂糖、羊毛、大豆、
麥其他ノ食物、皆是レ農產物ナラザルモノナシ、斯ノ如ク農產物ハ重要物デアッテ、國
家ノ凡テノ經濟ノ基礎ヲ成シテ居ル、故ニ吾々ハ徹頭徹尾農村保護ヲ大ニ必要トスル、
尙ホ最後ニ一言附加ヘテ置キマスルコトハ、農村保護ト云フコトハ即チ軍隊ノ精神ヲ保
護スルト云フコトニモナル、淳朴ナル柔順ナル精神ヲ有シテ居ル者ハヤハリ農村ニ存在ス
ルデアリマスカラシテ、若シモ農村が頹廢ニ及ブトキニハ我が軍隊ノ實力ニモ影響ヲ及
ボスモノト私ハ確信致シマス、何レ本會議ニ於テ提案者ノ主張ガアルデアリマセウカラシ
テ、其時ニハ更ニ具體的ノ評論ヲ致シマスガ、大體ニ於テ私ハ反對スル、現行法ヲ唯今
ノ所デハ最善ナル法ト信ズル者デアリマス

○委員長(板東勘五郎君) 今反對ガゴザイマシタカラ、成ベク今度ハ贊成者ノ御意
見ガアレバ其方カラ御發議ヲ願ヒタウゴザイマス

○有森新吉君 今ノ御論ヲ拜聽致シマス云フト、米ニ稅ヲ課スルト農村が疲弊スル
ト云フ御議論デアリマスガ、私ハ先キニモ御話シタ通りニ農村ノ疲弊ヲスルコトハ少シ
モ考ヘ及バヌノデス、何故農村が疲弊スルカ、私ナシカガ云フ議論ハ食物ニ課稅シテハ
カスト云フ議論デ、食物ニ課稅スルト云フコトハ換言スレバ人口ノ制限ヲスルト云フコト
ニナルデアリマス、人口ノ増加ニ制限ヲ加フルモノデアリマス、デ爲政者ハ人間ノ食料
ヲ成ルベク價ヲ安クシテ與ヘナケレバナラヌデアリマス、如何ナル國ノ政事ヲスルモノデモ、
例ヘバ自國ノ農產物が食料品トシテ不足ナレバ外國カラ取ツテ來テモ、免三角人間ニ要
シマスルトコロノ根本タル食物ハ、ドウシテモ安クシナケレバナラヌハ原則デアリマス、ソレ
ハ所謂肥料ノ如キモノモ無稅ニスルト云フノハドウ云フ譯カト云フト、其食物ヲ作ルトコ
ロノ一定ノ土地カラ收穫スルトコロノモノヲ、増加サセヤウト云フ積リテ肥料ハ用ウルデア
ルカラ、其肥料ハ無稅ニスルデアレ人間ハドウカト云フト、人間ハ物ヲ食ッテ働クトコロノ
原動力デアリマスカラ、是ニ要シマスルトコロハ肥料以上デアルト云フコトヲ考ヘテ貫ハナ
ケレバナラヌ、農家ノ尊重スベキコトハ何々カト云フタナラバ、農業上ノ產物ハ人間が作
テ呉レルカラ重要デアリマスガ、其人間ヲ養フコトコロノ食料ハ不必要デアリカト云フト、極
メテ必要デアル、ソレデアリマスカラ食物ニ付テ稅ヲ課シタリスルコトハ成ルベク少ナクシナ
ケレバナラヌ、今ノ御說ヲ聽イテ見ルト最早私ナドノ考デハ攻撃ナサル方ノ說ハ矛盾ヲシ
テ居ルト思フ、國家ノ重要ナルモノハ農村デアルト云フコトデアルガ、如何ニモ農村ハ重要
デアル、日本ノ農民ハ米ヲ作ルト云フコトニ付テハ世界第一デアルドコノ國ニ比較シテモ
日本人程巧ミナル國民ハナイ、僅カノ土地ヲ耕シテモ立派ナ多クノ米ヲ作ルト云フコト
ハ、世界三類ガナイデアリマス、日本ノ農業ハ發達シテ居リマス、日本人ノ作ツタ米デ
アッタナラバ非常ニ卓絶シテ居リマスカラシテ、需用ガナイト云フコトハナイカラシテ、農村ノ
疲弊スルト云フヤウナコトハ、此外國米ヲ輸入シマシテモ日本ノ農村ノ疲弊スルト云フコ
トハ少シモアリマセヌ、サウシテ農村ハ必ズシモ米ヲ作ラナケレバナラヌト云フ譯ハナイ、米

ノ外ニモ農村ハ日本ノ農民ノ發達シタモノ、作ルモノハ澤山アル、蠶絲トカ或ハ薄荷ヲ
作ルトカ、唐辛ヲ作ルモノモ何ヲ作ッテモ、様々ノ工業品ノ材料トナルモノヲ作ルトモ出來マス、
我日本國ニ於テハ一坪ノ地面ヨリ多クノ生産品ヲ拵ヘルノデアリマスガ、是ハ政事家ハ
目ヲ着ケナケレバナラヌ農村ハ疲弊シテハナラヌト云フガ疲弊シテハナラヌデアルガ、農村
ニ幾ラ保護ヲ與ヘマシテモ今ヨリ倍以上ニスルコトハ出來マセヌ、私ナンドガ考デハ……

○丸尾光春君 倍ニスルコトハ出來マス

○有森新吉君 ソレハ出來マスノハ非常ニ力ヲ入レテ非常ノ保護ヲ加ヘナケレバ出來
マセヌ、農業トシテハ私ノ考デハソレデアリマスカラ、日本ノ農業者ノ本トシテ議論ヲシテ
ハ宜シクナイ、今後ノ發達ノ狀況ヲ以テ見レバ必ズ工業トカ商業トカニ向シテ其力ヲ注
ガナケレバナラヌ、日本ヲ疲弊サレデハナラヌガ——其處デ一坪ノ收入ヲ餘計ニ上ゲヤウ
トスルニハ必ズ工業ヲヤラナケレバナラヌ、一坪地面カラ澤山ノ收益ヲ上ゲルノハ工業ニ
アルノデス、デカラ大阪アタリノ地代ハ高イノデアリマス、其高イノハ何カト云フト其生産
額ガ多イカラデアル、決シテ生産額ガ低クケレバ其土地ノ高イト云フコトハナイデアリマ
ス、其土地ニ生ズルトコロノモノガ非常ニ澤山デアアルカラシテ價が高イノデアリマス、私ナ
ンドハ反對論者ノ云フトコロナドノ聽イテ見ルト少シモ取ルベキトコロハナイデアリマス、
外國ノ產米モ段々多クナレバ米ヲ作ルヤウナコトハシナイデモ——初メニ御話シタ如ク日
本デ出來ル米ハ非常ニ宜イ米ガ出來ルノデスカラ、外國デハ之ニ競争スルコトハ出來マ
セヌ、ソレカラ米ハ作ラヌトシテ外ノモノヲ作リマシテモ、農村發達スル道ハ幾ラモアリマ
ス、蠶ガ利益デアルトスレバ此食料タル米ハ外國カラ取ツテ仕舞ッテ蠶業ハカリヤッデモ構ハ
ヌガ、兎モ角モ爲政者ハサウ云フトコロニ注意シテ——農村ニ米ヲ收穫サセルカラ疲弊
サセルノデ、今申上ゲタヤウニ蠶ヲ飼フトカ何トカ云フヤウニ致シマスレバ、農村ノ疲弊ス
ルト云フヤウナコトハアルベキデナイ、農村ノ保護モシナケレバナラヌガ、様々ノ方法ヲ廻
シサイスレバ今ノ農村ノ疲弊スルト云フヤウナコトハナイ、農業モ保護スルガ工業モ保護
シテ行クガ宜イ、併シナガラ初メニ申シマシタ如ク、小サイ處カラ餘計ノ生産額ヲ拵ヘヤ
ウトスレバ、農業ノ外ニ目ヲ著ケナケレバナラヌ、英國デモ「イリスベス」ノ時代ニハ——百
年程前デス千八百四十年マデハ食物自給策ヲ採ツタ、ソレデ外國カラシテドン——入ッ
テ居ルカラシテ、百姓ヲ保護スルト云フ上カラ、此入ッテ來ル米ニ課稅ヲシナケレバナラヌ
トシテ課稅ヲシテ居ッタケレドモ、到頭ソレヲ廢シタデアリマス、ソレカラ段々ト英國ハ發
達シテ來マシテ殖民地ハ多クナリ、サウシテ商業工業ガ盛ニナッタデアリマス、デカラ
百年前ニ於テ非常ニ仕事ガ盛ニナッタデアリマス、其時ニ所謂奈勃翁トノ戰ガアッタ
デアリマスガ、奈勃翁ハ外國カラ來テ入レルノヲ廢メサシテヤッタナラバ困デアラウト云
フ考カラシテ、大陸同盟ヲ作ッテイロ——ノコトヲヤリマシタガ、ソナコトハ少シモ考ヘナ
イ、外カラ米ヲ取ルト云フコトニシテモ、制海權ヲ有ッテ居ルカラシテ、英國人ハ米ノアル
トコロカラ米ヲ取ツテ來タデアリマス、今日ノ交通上カラ云ヒマシテモ、經濟ノ發達ノ
上カラ云ッテモ、穀物自給策ト云フヤウナ考ハ無論無用ノ考デアッテ、何デモ構ハズ自分
ノ國カラ生産額ヲ増加スルト云フコトニ注意ヲ拂ッテ行カナケレバナラヌデアリマス、私
ハ日本ノ米ノ輸入撤廢ヲシテ多數ノ細民ニ利益ヲ與ヘテ往カナケレバナラヌ、今ノヤウナ
政治上ニ稅ナンカラ存在シテ置イタナラバ、他日非常ナル結果ヲ生ズルトニナルト思ヒ

マス、又人口ノ増加ヲ制限スルコト云フヤウナコトニナリマス、即チ食物ガ高クナルコトハ之ヲ言換ヘテ言ッテ見レバ食ハサレヌコトニナルノデアアル、食物ヲ食ハサレヌト云フノハ、即チ人口ヲ制限スルコトニナルノデアアル、農家ヲ助ケルタメニ此日本國民ノ増加ヲ制限スルコト云フコトハ、日本ニ至大ノ弊害ヲ生ズルモノデアアルト思ヒマス、是ハ此間モチヨット御話ヲ致シマシタガ、農家ノ土地ヲ有ッテ居ル人間タケハ生活ヲスルコトガ出來ルガ、其農家ノ中ノ二男、三男、四男、五男トシテ生レタ者ハ、父祖ノ事業ヲ捨テ、他ニ職業ヲ求メナケレバナラヌ、或ハ海外ニ赴イテ事業ヲ起サウトシテモ、又ハ日本ニ事業ヲ起サウトシテモ差支ガ生ズルコト云フヤウナコトデアッタナラバ、一般ノ人ガ自然ニ子ヲ生ヌコト云フコトニナル、現ニ佛蘭西ノ如キモ子ヲ生ヌ傾向ガアッテ國家ニ非常ナ弊害ヲ生ジテ居ル、又ハ維新以前ニモアリマシタ、何デアアルカト云ッタナラバ、即チ交通ガ無クシテ今日ノ如ク經濟界ガ大クナクテ一地方デコソソシテ居リマシタカラ、ドコノ地方ニモ人口ヲ省クト云フヤウナコトガ生ジテ來ル、食物ニ課稅スルコト云フコトハ人間ヲ増加サセヌ、即チ國家ノ發達ヲ害スルコト云フヤウナコトニナル、吾々ハ此米ノ稅ヲ廢スルコト云フコトハ非常ニ重要ナコトデアッテモ、國家ノ安危ニ關係スル大問題デアラウト考ヘル

○委員長(板東勘五郎君) 提案者ニ確メテ置クコトガアリマス、前回ニ問題ニナリマシタ提出ノ文章ガ御論ノ主旨ト適ハナイノデ、順序カラ申シマスレバ之ヲ修正シテ置クノガ宜イト考ヘマス、併シ今日ノ形勢デハ贊成者ガ餘リ餘計ナイタメニ修正ノ手續ガ出來マセヌガ、提出者ハ此儘御定メニナリマスカ

○有森新吉君 此十二項二百四十錢トアル、ソレヲ無稅ト直スノデアアリマス

○委員長(板東勘五郎君) 先決問題トシテ此間モ議論ノアリマシタ提案ノ書式ヲ變ルコトスデガ、十二項ノ下ヲ無稅トスル、即チ米ト麥ノ輸入稅ヲ無稅ニスル、斯ウ云フ意味ニナリマスサウシマスルト、之ヲ先決問題トシマスカラ 御同意ノ御方ハ舉手ヲ願ヒマス

舉手者 多數

○委員長(板東勘五郎君) 多數、是ハ提案者ノ發言者ノ通りニ改正スルコトニ致シマス、モウ一ツハ施行期限デス

○有森新吉君 此ノ施行期限ハ大正四年ノ四月一日ヨリト致シマス

○委員長(板東勘五郎君) 此施行期限ヲ大正四年ノ四月一日ヨリト致シマスニ付テ御同意ノ御方ノ舉手ヲ願ヒマス

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○委員長(板東勘五郎君) 御異議ガゴザイマセヌケレバ提案ニ對シテノ修正ハ左様ニ決シマシタ——以前ノ討論ニ移リマス

○加賀卯之吉君 唯私ノ憾ミトスルノハ、有森君ヨリ今縷々述べラレタ意見ハ主唱者ノ鈴木梅四郎君ノ言フコロノモノト、尙ホ其主張ノ違テ居ル點ガアルノデス、ソレカラ鈴木梅四郎君ハ提案者トシテ吾々ハ此問題ハ確ニ日本ノ農業者ニ影響ノアルモノト信ズル、斯ウ云フコトニ對シテ決シテ此米ガ下ジテモ苦シムモノハナイ、苦シムモノハ唯地主ノミデアアル、多數ノ農民ハヤハリ米ヲ食フテ居ル人デアアルカト云フ御話ガアッテ、サウ云フ材料ヲ得テ居ル——調査ヲシテ見タ上ニサウ云フ材料ガアルト云フコトヲ委員會ニ於テ

辯明セラレマシタ、サウシテ其事ヲ或ル期間ニ於テ報告シ得ルト云フコトデアッタガ、其提案ヲ見ズシテ此決議ヲスルコト云フコトハ、頗ル遺憾ニ私共ハ思ヒマス、思ヒマスケレドモ私共ノ信ズルコロニ依リマスルト、サウ云フ事實ガナイノデ、或ハアレハ一時逃レノ遁辭デアツカ知ラヌト云フ疑問モ今ニシテ起ル、若シアルナラバ確ニ此大問題ニ對シテ其材料ヲ提供セラレル義務ガアル、提案者其人ハ——然ルニ今日マデ其事ガ無イノハ一時ノ遁辭デアアルカモ知レヌト思フノデアアリマス、ソレカラ昨年ハ吾々不幸ニシテ關稅據置論者ガ少數デ、政友會諸君ガ是ガ贊成デアッテ頗ル遺憾デアツタガ、本年ハ農業ニ御同情下サル方ガ多數出テ來ラレテ、形勢甚タ吾々ノタメニ宜シイト云フコトハ大ニ私共ノ慶賀スル次第デアリマス、處デ此事ハモウ昨年材料ヲ澤山蒐集シテ反對ヲシタ一人デアツタカラ之ヲ繰返ス要ハアリマセヌ、此事ハ今日ハ或ハ有森君一人ノ御贊成デアッテ他ニ贊成者ガアルカナイカ解リマセヌガ、一體世ノ中ニ立テ所謂社會ノ啓發者ヲ以テ任ジテ居ルコロノ新聞記者諸君ノ中ニハ、此關稅問題ニ付テ誤謬ヲ抱イテ居ル方ガ多イ、商業會議所アタリカラモ屢々此問題ガ出テ來ル、何レカ一度研究シテ致命傷ヲ與ヘテ置イタナラバ出來ナイデラウト思ッテ居ル位デアリマス、而シテ其議論ハ——名ヲ指シテハ言ヒマセヌガ、東京ノ米ノコトニ最モ通ジテ居ル一ツノ新聞ガアリマスガ、是ガ關稅撤廢論ヲ書イテ居リマス、二三日前ニモ書イテ居リマシタ、今日ハ九尾君ノ說ニ贊成スルコトハ餘リ多ク敷衍スル必要ハナイト思ヒマス、委員會ノ決議ニ鑑ミマシタナラバ——併ナガラ世ニ誤謬ガアルタメニ一言費シテ置キタイト思ヒマス、一體此關稅ナルモノハ私ハ理屈ハ多ク知ラス、實際ヲ知ッテ理屈ハ餘リ知リマセヌガ、此關稅ト云フモノハ一體米ヲ消費スル者ガ負擔スルモノデアアルノデアリマセウカ、製産者ガ之ヲ負フベキモノデアラウカ、或ハ中間ニ立ッテ居ル商人ガ之ヲ負擔スルモノデアラウカ、或ハ消費者或ハ生産者互ニ是ガ負擔スルモノデアラウカ、凡ソ四ツノ疑問ハアルノデス、其事實ヲ舉ゲテ見マスルト、露西亞ノ黑麥ヲ獨逸ニ輸出スルノデス、此輸出スル場合ニ露西亞ノ商人ハ麥ヲ買ウトキニ獨逸ニ持ッテ行ク運賃ガ幾ラ、保險料ガ幾ラ爲替ガ幾ラト云フコトヲ勘定シ積ッテソレダケ廉ク麥ヲ買ウト云フコトデアリマス、其時ニハ確カニ生産者ガ負擔スベキコトニナル結果デス、又輸入國デ米ガ全然足ラナクテ輸入シテ來ルコトデアッタナラバ、當然消費者ノ負擔スベキモノデアラウト思ヒマス、國ト國ノ事情、時ノ相場ノ事情、或ハ同國デモ獨逸ノ如キハ西ノ方デハ麥ガ足ラヌガ東ノ方デハ食料ガ餘ルトカ云フコトガアッテ、一國ニシテモ違フコトガアル、其月ニ依ッテモ違フコトガアル、尤モ豐凶ニ依ッテデアリマスカラ——サウ云フモノデアリマスカラ啻ニ此事ハ消費者ガ負擔スルコト云フコトニ斷言ハ出來ナイモノデアラウト思フ、是ハ理窟カラ云フ話——ソレカラ是ハ甚ダ贊成論者ノ中デ、斯ウ云フコトヲ言フノハ相濟マヌガ、米ガ何億万石世界デ出來ル、ソレデ若シ廉クシタラドン——入ッテ來ルト云フ議論ガアツタヤウデスガ、是ハ自カラ制限ノアルモノデアッテ佛領印度ニシテモ英領印度ニシテモ暹羅ニシテモ、何處ニシテモ凡ソ生産額ノ幾分ハ東洋ニ行ク、幾分ハ歐羅巴ニ行クト行フコトハ凡ソ行キ道ハ極デ居ル、ソレデカラ日本ノ關稅ヲ引下ゲタカラト云ッテサウ無暗ニ何千万石何億万石來ル筈ハナイ、ソレハ全ク杞憂デアラウト私ハ思ヒマスケレドモ、兎ニモ角ニモ米ノ關稅ト云フモノヲ引下ゲタナラバ必ズ日本ノ食料品ニ影響ノアルト云フコトハ明カナ事實デス、此ニ於テ一ツ辯明ヲシテ置カナケレバナラヌノハ、過日大藏省ノ政府委

賭博ナドハ非常ナ制裁ヲ加ヘ、或ハ富饒ノ如キモノニ制裁ヲ加ヘテ居ツタガ、米價ノ維持ニ付テハ賭博的行爲ガアツテモ米場トカ米取引トカ云フモノニ對シテハ寛大ニシテ、其價ヲ維持シテ來タト云フコトハ全ク日本國ハ農業ヲ保護シナケレバナラヌト云フ意思カラ徳川政府ガ米場ヲ許シテ居タト云フコトハ歴史ニ明カデアル、日本ノ農業ニ付テハ其時分モ今モ變リハナイ、私ハ先ヅ此關稅問題ノ如キハ農家ヲシテ農業ヲ獎勵セシメ發達セシムル大事ノモノデアツテ、而モ之ヲ取ツタナラハ非常ナ影響ノアルコトヲ私ハ信ジテ居ルデアリマス、故ニ私ハ此案ハ速カニ否決セラレンコトヲ希望シテ止ミマセヌ

○小山谷藏君 此案ハ提案者一人ダケノ贊成デ、他ハ皆反對ハカリノヤウデアリマスガ、併シ私ハ皆様ノ御意見ヲ拜聽シマシタガ私ハ少シク異ツタル觀察點カラ、私ノ持論トシテ茲ニ申述ベテ速記録ニ留メテ置キタイト云フ考ヲ有ツテ居リマスガ、大分時間モ過ギマシタカラ今日ハ是デ散會シテ、モウ一回開カレンコトヲ希望致シマス

○委員長(板東勘五郎君) ソレデハ今日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時三十一分散會